

平成24年(2012年)版

事業概要



公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

# 目 次

## I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会(略称「広島原対協」)の概況

1 目的	1
2 事業	1
3 沿革	1

## II 組 織

1 広島原爆障害対策協議会の組織図	6
2 役員・評議員	6
3 職員	7

## III 施 設

## IV 平成24年度事業計画

1 被爆者の健康診断・健康管理事業	9
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業	10
3 被爆者の援護福祉事業	10
4 市民の健康診断・健康管理事業	11
5 市民の健康増進・健康教育事業	12
6 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業	12
7 その他目的達成に必要な事業	12

## V 平成24年度予算

## VI 平成23年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断	15
ア 被爆者一般・精密検査の実施	15
イ 平成23年度被爆者一般・精密検査実施状況	17
ウ 被爆者がん検診等の実施	23
エ 平成23年度被爆者がん検診等実施状況	24
オ 原爆被爆者二世健康診断の実施	31
(2) 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等	
ア 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等の実施	32
イ 平成23年度健康診査等実施状況	33

2	被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1)	調査研究の実施	44
(2)	被爆者健康診断資料の収集整理と活用	44
(3)	文献の収集	44
(4)	第52回原子爆弾後障害研究会	44
(5)	検診結果の統計処理	44
3	被爆者の援護福祉事業	
(1)	被爆者相談	45
(2)	被爆者の援護措置	45
(3)	原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営	46
4	健康増進事業	49
5	健康教育事業	52
6	放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	54
7	平成23年研究業績	55

## Ⅶ 資 料

1	年度別被爆者数（広島市及び広島県）	57
2	年賀寄附金配分金による実施事業	58
3	日本自転車振興会補助金による実施事業	59
4	車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	59
5	広島県補助金による実施事業	60
6	広島市補助金による実施事業	61
7	日本高等学校教職員組合等からの寄付金	62
8	全国から寄せられた寄付金	63
9	核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品	67
10	日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	67
11	職員	68

# I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会（略称「広島原対協」）の概況

## 1 目的

この法人は、原爆障害の研究及び原爆被爆者の健康管理の対策並びに原爆被爆者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

## 2 事業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆被爆者の障害及び健康管理に関する研究
- (3) 原爆被爆者の生活・健康・医療に関する相談及び原爆被爆者に対する援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの運営管理
- (5) 原爆被爆者の健康診断及び住民の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

## 3 沿革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始、昭和 31 年 4 月には「財団法人広島原爆障害対策協議会」に改組し、被爆者の健康診断、健康管理に関する調査研究、援護に取り組んできた。

平成元年 9 月、「広島市総合健康センター」への移転後は、一般市民を対象とする健康診査や健康増進事業、健康教育事業を加え、被爆者をはじめ全ての市民の健康の維持・増進、被爆者の福祉向上のために各種事業を実施している。平成 24 年 4 月には、広島県知事から公益財団法人として認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行した。

---

昭和 28 年 1 月	「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立 事務局を広島市社会課内に設置
昭和 29 年 1 月	被爆者の合同診察を開始
2 月	原爆障害者の実態調査を実施
10 月	事務局を広島市民病院内に移設
昭和 30 年 5 月	原爆乙女 25 名の渡米治療に協力
昭和 31 年 4 月	「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可
9 月	原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設
昭和 32 年 9 月	第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞
昭和 33 年 2 月	原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始
11 月	お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定
昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

---

- 
- 昭和 36 年 4 月 「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成  
5 月 「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設  
6 月 第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催  
7 月 被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始  
8 月 『広島原爆医療史』を発売
- 昭和 38 年 10 月 「広島原爆被爆者健康管理所」を開設  
11 月 第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 昭和 39 年 3 月 「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成  
9 月 オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃集団検診を開始
- 昭和 40 年 10 月 第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発売
- 昭和 42 年 5 月 精密健康診断車(ひかり号)を購入  
6 月 日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
- 昭和 43 年 7 月 「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成  
10 月 第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催  
11 月 自動分析機(オートアナライザー)を設置
- 昭和 44 年 2 月 日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成  
3 月 テレビジョン X 線カメラを設置  
8 月 勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始  
続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発売
- 昭和 45 年 4 月 子宮がん検診を開始  
5 月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成  
6 月 第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 昭和 46 年 3 月 「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成  
6 月 第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催  
「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
- 昭和 47 年 5 月 全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
- 昭和 48 年 4 月 広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成  
6 月 第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催  
8 月 被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
- 昭和 49 年 5 月 自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入  
7 月 広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成  
12 月 肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
- 昭和 50 年 4 月 勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始  
6 月 第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 昭和 51 年 6 月 胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
- 昭和 52 年 6 月 第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
- 昭和 53 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成
-

---

	X線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用X線装置を更新整備
8月	勤労被爆者のため月1回日曜出張健診を開始
昭和54年4月	被爆者の胃検診(昭和62年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6月	第20回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和55年2月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和56年5月	第22回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設20周年記念パネル展示会を開催
10月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修 その他工事完成
昭和57年9月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を購入
昭和58年6月	第24回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和59年9月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
昭和60年6月	第26回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車庫上屋根新設工事等完成
昭和61年7月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用X線テレビ装置更新整備
昭和62年3月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用X線装置更新整備
4月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6月	第28回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和63年8月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR専用X線透視撮影台及びCR用光ディスク画像ファイル装置を設置
8月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性骨髄腫)を開始
平成元年3月	自動血球計算装置(コールターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、光ディスク画像ファイル装置を設置
6月	第30回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR専用X線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成2年4月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診断の出張健診及び老人保健法・被爆者の出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)を開始
8月	磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
平成3年3月	夜間健診を中止
4月	被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)

---

- 
- 6月 第32回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 8月 X線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
  - 平成4年4月 被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始
  - 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
  - 8月 自動血球計算装置搭載健康診断車(2号車)を更新整備
  - 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
  - 10月 国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
  - 11月 老人保健法による大腸がん検診を開始
  - 平成5年4月 被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
  - 6月 第34回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 8月 胃集検用X線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
  - 平成6年4月 事務局組織改正。2課1室を3課2室制に改める。
  - 5月 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
  - 9月 自動血球計算装置搭載健康診断車(1号車)を更新整備
  - 平成7年4月 被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
  - 5月 原爆被爆50周年記念特別講演会を開催  
第36回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 6月 内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
  - 8月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
  - 10月 市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
  - 平成8年4月 老人保健法による肺がん出張検診を開始
  - 7月 CR用X線透視撮影装置を更新整備
  - 8月 既設MRI装置をバージョンアップ
  - 平成9年4月 市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
  - 6月 第38回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 7月 X線骨密度測定装置を更新整備
  - 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
  - 平成10年8月 糖尿病予防対策事業を開始  
「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成  
コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備
  - 10月 C型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
  - 平成11年6月 第40回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 9月 DRシステムX線テレビ装置を整備
  - 平成12年9月 超音波診断装置を更新整備
  - 平成13年1月 MRI装置を更新整備
  - 6月 第42回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 平成14年3月 デジタル超音波診断装置を更新整備
  - 7月 自動血球計算装置を更新整備
  - 8月 「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成
  - 平成15年4月 市民のC型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)にB型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
  - 6月 第44回「原子爆弾後障害研究会」を開催
  - 7月 内視鏡検査システムを更新整備
-

---

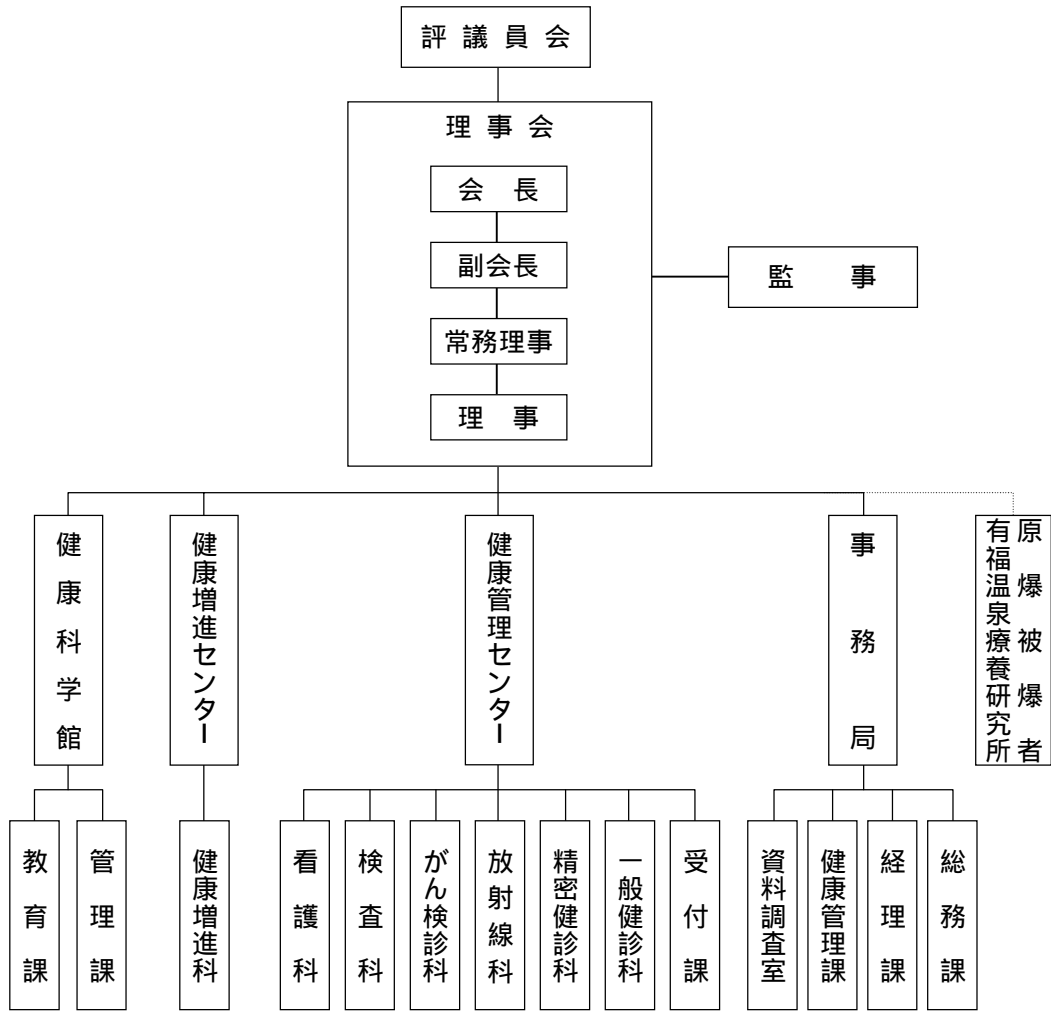
平成 16 年 1 月	乳房 X 線撮影装置を更新整備 CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
4 月	第二次 CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備
8 月	全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
平成 17 年 6 月	第 46 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	総合健診電算システムを更新整備
12 月	乳房 X 線撮影装置を整備
12 月	医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
平成 18 年 3 月	職業補導事業を廃止
4 月	マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始 老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
9 月	デジタル X 線透視撮影装置更新整備
10 月	被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
12 月	全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1号車)
平成 19 年 1 月	X 線骨密度測定装置更新整備
6 月	第 48 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	X 線 C T 撮影装置整備 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
平成 20 年 5 月	特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
8 月	超音波診断装置更新整備
11 月	MRI 装置のアップグレード整備
平成 21 年 2 月	医用画像情報システム更新整備
3 月	デジタル胃集検 X 線透視撮影装置更新整備
4 月	日曜健診(第 1・第 3 日曜日)を午前のみの実施とし、第 3 日曜日に胃がん・肺がん検診を開始
6 月	第 50 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	女性特有のがん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
平成 22 年 1 月	医用画像情報システムビューワー更新整備
4 月	社会保険加入者の被扶養者の出張特定健康診査を開始
9 月	超音波画像診断装置更新整備 全自動電気泳動装置更新整備
平成 23 年 3 月	F P D デジタル X 線透視撮影装置更新整備
4 月	日曜健診(第 3 日曜日)で乳がん・子宮がん検診を開始
6 月	第 52 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念式典を開催
11 月	働く世代への大腸がん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
12 月	総合健診システム更新整備
12 月	広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念パネル展を開催
平成 24 年 3 月	広島市健康づくりセンター 1 階(乳がん・子宮がん検診エリア等)改修工事完成
3 月	超音波画像診断装置更新整備
4 月	広島県知事の認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行
4 月	土曜健診を第 2・第 4・第 5 土曜日のみの実施に変更し、全ての土日健診(第 2・第 4・第 5 土曜日及び第 1・第 3 日曜日)で胃がん・肺がん検診を開始

---



## II 組 織

### 1 組 織 図



### 2 役 員・評 議 員

公益財団法人広島原爆障害対策協議会 役員名簿

(平成24年7月1日現在)

役 職	氏 名	職 名
会 長	真 田 幸 三	広島県医師会顧問
副 会 長	長 崎 孝 太 郎	広島市医師会長 (医療法人厚生堂長崎病院理事長)
常務理事	古 川 義 紀	医療法人社団古川医院長
常務理事	沢 近 紀 夫	広島市医師会代議員会議長 (沢近医院長)
常務理事	松 下 義 孝	広島原爆障害対策協議会事務局長
理 事	大 知 裕	広島市健康福祉局原爆被害対策部長
理 事	臺 丸 尚 子	広島市健康福祉局保健部長
理 事	河 野 修 興	広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門分子内科学教授
理 事	上 野 祐 之	広島県健康福祉局被爆者支援課長
監 事	高 崎 司 公	広島市都市整備公社監事

氏名	職名
荒木康之	広島市民病院長
石田照佳	広島赤十字・原爆病院長
系山隆	広島市健康福祉局長
大久保雅通	広島市医師会副会長(内科(糖尿病)久安医院長)
桂木弘二	日本赤十字社広島県支部事務局長
鎌田七男	広島原爆被爆者援護事業団理事長
神谷研二	広島大学原爆放射線医科学研究所長
木島丘	広島市議会議長
桑原正雄	県立広島病院長
佐々木昌弘	広島県健康福祉局長
茶山一彰	広島大学病院長
土江健也	広島市歯科医師会長
前田泰則	広島県薬剤師会長
横山行男	医療法人横山胃腸科内科医院長

### 3 職員

(平成24年7月1日現在、単位：人)

事務局		健康管理センター		健康増進センター		健康科学館		
職種	人員	職種	人員	職種	人員	職種	人員	
事務局長	1	所長	1	医師	所長	(1)	館長	1
事務職員	17	副所長	1		副所長	(1)	事務職員	3
事務嘱託	1	部長	1		常勤医師	1	栄養士嘱託	1
相談員	1	常勤医師	4		看護師	1	看護師嘱託	1
放射線技師	1	非常勤医師	19		栄養士	2	事務嘱託	5
自動車運転手	9	読影委員	48		運動指導員	2		
用務員	1	看護師	18	事務職員	1			
		検査技師	34					
		放射線技師	12					
		栄養士	1					
		事務職員	17					
		看護師嘱託	3					
		事務嘱託	4					
小計	31	小計	163	小計	7	小計	11	
			合計			合計		212

### Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本会の三者協力のもとに建設されたものであり、本会は、平成元年9月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所在地 広島市中区千田町三丁目8番6号
- 2 敷地 9,622.67 m<sup>2</sup> (広島市 5,122.67 m<sup>2</sup>、広島市医師会 4,500.00 m<sup>2</sup>)
- 3 建物 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上6階建 延べ 15,916.26 m<sup>2</sup>

利用区分	面積
健康管理センター専用	3,187.42 m <sup>2</sup>
健康増進センター専用	253.37
事務局専用	1,000.42
健康科学館専用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,741.2
広島市医師会専用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合計	15,916.26

- 4 事業費 約 90 億円 (広島市約 65 億円、広島市医師会約 25 億円)

## IV 平成24年度事業計画

平成24年度は、本協議会が「公益財団法人」としての第1歩を踏み出すこととなるため、これまで以上に公益目的事業の理念を踏まえ、広島市医師会及び医師会員並びに原爆関係諸機関との密接な連携のもと、被爆者の健康診断・健康管理事業、被爆者の健康管理に関する調査研究事業、被爆者の援護福祉事業のほか、市民の健康診断・健康管理事業を実施するとともに、指定管理者の指定を受けて広島市健康づくりセンター施設の維持管理や健康増進事業、健康教育事業等を推進する。

### 1 被爆者の健康診断・健康管理事業

#### (1) 健康診断の実施

被爆者の高齢化が進むなか、健康管理の一層の充実を期するため、健康診断体制の整備充実に努めるとともに、実施に当っては、関係当局と連携のうえ受診率の向上を図る。

ア 被爆者が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を総合的に検討し、健診日数及び健診会場の適正化を図る。

イ 被爆者の受診機会を多くするため、広島市健康づくりセンターでの健診において全ての土曜・日曜健診に胃がん・肺がん検診を実施するとともに、第3日曜健診の乳がん・子宮がん検診を引き続き実施して、受診サービスの向上に努める。

ウ 被爆者健康診断の受診を促進するため、関係当局と連携して各種広報による啓発活動を積極的に行う。

エ 被爆者二世健康診断を実施するとともに、その受診率向上に努める。

オ 実施目標	一般検査	22,700 件	精密検査	24,000 件
	胃がん検診	3,700 件	肺がん検診	10,900 件
	子宮がん検診	2,000 件	乳がん検診	2,600 件
	多発性骨髄腫検診	15,500 件	大腸がん検診	9,500 件
	骨粗鬆症検診	5,200 件		

#### (2) 健康管理の推進

被爆者ががん検診を積極的に推進するとともに、被爆者の高齢化に伴う諸状況を考慮し、特に次の事項に重点をおいた取組みを行う。

##### ア 悪性新生物の早期発見

胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸がん等の早期発見に努め、広島大学大学院医歯薬保健学研究院、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、積極的にこれらの検索を実施する。

##### イ 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧・虚血性心疾患等の生活習慣病の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行う。

#### (3) 健康診断医療機器等の整備

ア 電子内視鏡システムを年賀葉書寄附金の配分を受けて更新整備する。

イ 出張健診用血糖・HbA1c 測定装置を更新整備する。

ウ C R画像制御装置を更新整備する。

#### (4) 被爆者健康管理資料の整備

ア 受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図所見等)を分類整理し、レントゲンフィルムは医用画像情報システムに、心電図はハードディスクや光ディスクへ収録して保存する。

イ これら健康診断の実績、結果等の諸統計を作成するとともに、ハードディスク、光ディスクに収録し、調査研究資料の管理体制を整える。

## 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

### (1) 調査研究の継続実施

継続して下記の調査研究を行い、その成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。

#### ア「被爆者がん検診の意義に関する研究」

本協議会での被爆者がん検診において新たに発見されるがん患者の著しい増加という成果を踏まえ、がん検診の意義・より効率的な検診のあり方・精度管理について、広島大学原爆放射線医科学研究所の疫学部門との協力、広島県腫瘍登録データの活用等により調査・研究を行う。

#### イ「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」

広島大学大学院医歯薬保健学研究院と同原爆放射線医科学研究所及び(公財)放射線影響研究所との共同研究によって被曝線量の推定を行うとともに、各種のがん発生率と被曝の関連を検討する。

#### ウ「被爆者の糖代謝に関する研究」

被爆者における糖代謝について検討し、糖尿病発症の予防の方策を検討する。

#### エ「肺がんに関する研究」

被爆者について肺がんの発生状況を調査研究し、予防に資する。

#### オ「加齢に関する研究」

虚血性心疾患、脳血管障害、骨粗鬆症、変性性神経疾患、心理学的異常等の加齢関連疾患や病態について検討するとともに、各種の関連要因(血圧・コレステロール・喫煙・栄養状況等)や被曝状況との関連を検討する。

### (2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集、整理保管し、その活用を図る。

### (3) 原子爆弾後障害研究会の開催

6月3日、長崎原爆資料館において開催される第53回原子爆弾後障害研究会に協力する。

## 3 被爆者の援護福祉事業

### (1) 被爆者相談の実施

被爆者の生活、健康及び医療についての相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援助を行う。

### (2) 援護措置の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて、被爆者の福祉増進を図る。

- ア 生活困窮者に対する援護金支給
- イ 有福温泉療養者に対する交通費補助
- ウ 被爆身体障害者等に対する見舞金支給
- エ 福祉用具貸与・購入費利用補助
- オ その他必要と認める経費の一部補助

## 4 市民の健康診断・健康管理事業

### (1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

高齢者医療確保法に基づく特定健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

また、健診結果から生活習慣病のリスクに応じて階層化し、特定保健指導を実施するなど、受診者のニーズに合った健診及び保健指導を行い、健診による市民の健康管理の推進を図る。

ア 市民が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を勘案し、健診日数及び健診会場の適正化を図る。

イ 実施目標(広島市国保)

特定健康診査	17,140 件
特定保健指導(積極的支援)	50 件

### (2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

健康増進法に基づく種々のがん検診等を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、市民の健康保持に努める。

ア 市民が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を勘案し、健診日数及び健診会場の適正化を図る。

イ 市民の受診機会を多くするため、広島市健康づくりセンターでの健診において全ての土曜・日曜健診に胃がん・肺がん検診を実施するとともに、第3日曜健診の乳がん・子宮がん検診を引き続き実施して、受診サービスの向上を図る。

ウ 実施目標	胃がん検診	18,900 件	肺がん検診	21,300 件
	子宮がん検診	11,400 件	乳がん検診	12,700 件
	大腸がん検診	13,000 件	肝炎ウイルス検査	170 件
	骨粗鬆症検診	1,900 件		

### (3) 感染症予防法に基づく結核健康診断の実施

感染症予防法に基づく結核健康診断を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、健診による市民の健康管理の推進を図る。

実施目標 12,500 件

### (4) 後期高齢者に対する健康診査の実施

75歳以上の後期高齢者に対する健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、健診による市民の健康維持に努める。

実施目標 3,200 件

### (5) 健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料(カルテ・レントゲンフィルム・心電図等)を整理し、保管するとともに、将来の活用に備える。

## 5 市民の健康増進・健康教育事業

### (1) 健康増進事業

医学的検査に加え、運動負荷テスト、体力測定、栄養調査を実施し、その結果に基づく運動指導や栄養指導を行うことにより、市民の健康の維持・増進を助長する。また、スポーツ選手のメディカルチェックを実施し、広島市スポーツ協会等と連携を図りながら、競技力向上に資する。

実施目標	基本コース	886 件（うちスポーツ選手のメディカルチェック 100 件）
	精密コース	1,844 件

### (2) 健康教育事業

市民の健康に対する関心の高まり、多様化するニーズに対応できるよう、健康に関する最新情報をわかりやすく正確に提供するとともに、積極的に教育研修等を実施し、日常における健康管理についての正しい知識の普及を図る。

#### ア 健康科学展示施設の運営

- (ア) 企画展開催 年 4 回
- (イ) パネル展 年 12 回

#### イ 健康ライブラリーの運営

- (ア) 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
- (イ) インターネットによる健康情報の提供

#### ウ 健康に関する教育研修の実施

- (ア) 主催による研修会・イベント 年 46 回
- (イ) 他の関係機関との共催による研修会 年 25 回

#### エ ボランティア(ヘルスサポーター)の養成・育成

- (ア) ボランティア養成講座(6 課程) 年 6 回
- (イ) ボランティア育成講座 年 2 回
- (ウ) ボランティアの活動 年 430 回

## 6 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業

(1) 被爆者又は市民の健診の結果、悪性疾患等が疑われた場合、確定診断や病期判定のために詳細な検査（ＣＴ・ＭＲＩ・内視鏡検査・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進める。

(2) 広島市医師会との協力のもと、事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、事業所健診、生活習慣病予防健診等の健診を行うとともに、広島市医師会との連携により、医師会員からの依頼によるＣＴ・ＭＲＩ検査等の検査を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進する。

## 7 その他目的達成に必要な事業

(1) 広島市から指定管理者の指定を受けて、広島市健康づくりセンターの施設の維持管理や受託事業を実施する。

#### ア ファミリー・サポート・センターの運営

会員同士の子育てに関する相互援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立支援や地域

における子育て支援機能の充実を図る。

イ つどいの広場の運営

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図る。

ウ パパとママの育児教室の運営

夫婦が協力して子育てを行うために、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図る。

(2) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

原爆被爆者有福温泉療養研究所は、同運営協議会(会長 江津市長)に運営を委託し、必要な支援を行うことにより、被爆者の福祉増進を図る。

特に、被爆者の高齢化等による利用者の減少に伴い、利用料収入での運営が困難となってきたため、引き続き所要の運営費補助を行う。

(3) 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

ア 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝治療に役立てるために、「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、外国からの研修生の受け入れなど、事業の推進に協力する。

イ 来日被爆者の健康診断・医療相談等の実施

国外に居住する被爆者が来日の際、健康診断及び医療相談を実施するとともに、被爆者手帳の取得に必要な手続きの相談にも応じるなど、引き続き在外被爆者への支援を行う。



# V 平成24年度予算

## 収 支 予 算 書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合 計
	公益 1 健康診断・ 調査研究事業	公益 2 援護福祉事業	公益 3 健康増進・ 教育事業	共 通	小 計	人間ドック 健診等事業		
一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	1	1	0	1	2
特定資産運用益	0	0	0	712	712	0	712	1,424
事業収益	1,039,988	0	139,984	0	1,179,972	360,118	17,276	1,557,366
受取補助金等	844	0	0	0	844	0	0	844
受取寄付金	0	765	0	0	765	0	0	765
雑収益	0	0	0	0	0	566	0	566
経常収益計	1,040,832	765	139,984	713	1,182,294	360,684	17,989	1,560,967
(2) 経常費用								
事業費	1,207,176	15,679	156,113	0	1,378,968	289,037		1,668,005
管理費							84,305	84,305
経常費用計	1,207,176	15,679	156,113	0	1,378,968	289,037	84,305	1,752,310
当期経常増減額	166,344	14,914	16,129	713	196,674	71,647	66,316	191,343
他会計振替額				34,511	34,511	34,511		0
当期一般正味財産増減額	166,344	14,914	16,129	35,224	162,163	37,136	66,316	191,343
一般正味財産期首残高	218,492	10,227	17,423	1,147,402	901,260	296,226	25,313	1,222,799
一般正味財産期末残高	384,836	25,141	33,552	1,182,626	739,097	333,362	41,003	1,031,456
指定正味財産増減の部								
受取補助金等	5,000	0	0	0	5,000	0	0	5,000
受取寄付金	0	1,000	0	0	1,000	0	0	1,000
一般正味財産への振替額	844	765	0	0	1,609	0	0	1,609
当期指定正味財産増減額	4,156	235	0	0	4,391	0	0	4,391
指定正味財産期首残高	2,655	800	0	100	3,555	0	100	3,655
指定正味財産期末残高	6,811	1,035	0	100	7,946	0	100	8,046
正味財産期末残高	378,025	24,106	33,552	1,182,726	747,043	333,362	40,903	1,039,502

## VI 平成23年度事業実績

### 1 健康診断事業

#### (1) 被爆者健康診断

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。検査項目は下表のとおりである。

健診種別及び検査項目（平成23年度）

種 別	検 査 項 目	
一般検査	CRP・血液一般検査・尿一般検査・血圧測定	
精密検査	血液生化学検査・心電図検査・骨髄像ほか必要な検査	
がん検診	胃がん検診	胃部X線撮影
	肺がん検診	胸部X線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	視診、触診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	視診、内診、細胞診（頸部）
	多発性骨髄腫検診	血液検査（血清蛋白分画検査）
	大腸がん検診	便潜血二日法
骨粗鬆症検診	骨塩定量検査（DEXA法）	

一般検査は、毎年、前期・後期の2回行う定期健康診断のほかに、年2回を限度として申請による健康診断が受診できる。一般検査の結果、必要があると認められた場合に、精密検査を実施する。また、申請による健康診断のうち1回をがん検診として受診できる。

#### ア 被爆者一般・精密検査の実施

被爆者一般検査・精密検査は、広島市総合健康センター及び市内の各集会所、公民館等を会場とする出張健診会場（2か所）の3会場で実施しており、そのために健康診断班を3班（1班約14名 - 医師を含む）編成している。

また、広島市総合健康センターで毎月第1・第3日曜日の日曜健診を実施しているほか、年間10回日曜出張健診も実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況（人，％）

年度	一般検査		精密検査 実施件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ実施件数
	実施件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	104.5*	110,420
* 8	52,175	52,541	54,967*	104.6*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341
22	25,619	25,616	27,428*	107.1*	53,047
23	23,952	23,947	25,508*	106.5*	49,460

\* 手帳更新年度

精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ当所で実施した人数を含んでいるためである。

イ 平成 23 年度被爆者一般・精密検査実施状況

平成 23 年度の一般検査の受診者数は 23,952 人、精密検査の受診者は 25,508 人であった。詳細は以下のとおりである。

(ア) 一般検査

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 1 年間の当施設及び延 462 回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表 2 a・b のとおり、男性 10,649 人、女性 13,303 人、計 23,952 人で、前年度との比較では 1,667 人の減少(男性 675 人、女性 992 人)である。年齢構成は、男性、女性とも 70 歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性 74.9±6.4 歳、女性 75.9±7.0 歳、全体では 75.4±6.8 歳である。健診会場別に受診者をみると、施設は 8,867 人(37.0%)、出張健診会場は 15,085 人(63.0%)であり、前年度に比し、施設健診は 551 人の減少、出張健診は 1,116 人の減少である。

出張健診の区別の受診状況は表 2 c に示すように、受診率は安芸区が 20.9%と最も高く、ついで安佐北区 15.3%、佐伯区 14.8%であり、全体では 12.2%である。

表 2 原爆 一般検査

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性		女性		計	
		%		%		%
64～69	2,833	26.6	3,333	25.1	6,166	25.7
70～79	4,738	44.5	5,455	41.0	10,193	42.6
80～103	3,078	28.9	4,515	33.9	7,593	31.7
計	10,649	100.0	13,303	100.0	23,952	100.0

b 健診会場別実施状況

(単位：日，人)

区分	平成23年度(A)		平成22年度(B)		比較増減(A)-(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	317	8,867	316	9,418	1	△ 551
出張健診	462	15,085	480	16,201	△ 18	△ 1,116
計	779	23,952	796	25,619	△ 17	△ 1,667

c 出張健診区別実施状況

(単位：日，人，%)

区分	平成23年度(A)				平成22年度(A)				比較増減(A)-(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中区	34	11,792	796	6.8	36	12,477	914	7.3	△ 2	△ 685	△ 118
南区	73	18,208	2,007	11.0	74	18,976	2,168	11.4	△ 1	△ 768	△ 161
西区	75	23,573	2,132	9.0	77	24,308	2,340	9.6	△ 2	△ 735	△ 208
東区	57	13,530	1,716	12.7	59	14,282	1,842	12.9	△ 2	△ 752	△ 126
安芸区	26	5,859	1,223	20.9	29	6,154	1,353	22.0	△ 3	△ 295	△ 130
安佐南区	68	21,526	2,817	13.1	69	22,458	2,935	13.1	△ 1	△ 932	△ 118
安佐北区	66	16,333	2,493	15.3	67	16,872	2,620	15.5	△ 1	△ 539	△ 127
佐伯区	63	12,852	1,901	14.8	69	13,924	2,029	14.6	△ 6	△ 1,072	△ 128
計	462	123,673	15,085	12.2	480	129,451	16,201	12.5	△ 18	△ 5,778	△ 1,116

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

d 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
64～69	2,833	2,832	99.96	3,333	3,332	99.97	6,166	6,164	99.97
70～79	4,738	4,738	100.00	5,455	5,453	99.96	10,193	10,191	99.98
80～103	3,078	3,078	100.00	4,515	4,514	99.98	7,593	7,592	99.99
計	10,649	10,648	99.99	13,303	13,299	99.97	23,952	23,947	99.98

(1) 精密検査

平成 23 年度の精密検査受診者延数は表 3 a のとおり、男性 11,490 人、女性 14,018 人、計 25,508 人であり、前年度に比し男性は 809 人の減少、女性は 1,111 人の減少、全体では 1,920 人減少している。年齢別には一般検査と同様に男性、女性とも 70 歳代にピークがある。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表 3 d に示すように、肝機能検査が最も多く、ついで、リウマチ検査、血糖検査、白血球分類、心電図検査、Free T4 の順である。

精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要なものを要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要なものを要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表 3 e・f である。要治療者については男女とも高血圧が最も多く、ついで男性では糖尿病、高コレステロール血症の順、女性では高コレステロール、糖尿病の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、貧血、高コレステロール血症の順に多くみられ、女性では、高血糖、血尿、高コレステロール血症の順である。

平成 23 年度に新たに発見された悪性新生物症例は表 3 g に示すとおり全体で 80 例あり、このうち最も多いのは胃癌 21 例、ついで大腸癌 12 例、多発性骨髄腫 9 例、甲状腺癌 9 例、肺癌 7 例、乳癌 6 例である。被爆状況別には表 3 h に示すように、2.0 km 以内の直接被爆者が 16 例、2.1 km 以上の直接被爆者が 25 例、入市・他が 39 例である。

表 3 原爆 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
64～69	3,141	27.3	3,622	25.8	6,763	26.5
70～79	5,211	45.4	5,840	41.7	11,051	43.3
80～103	3,138	27.3	4,556	32.5	7,694	30.2
計	11,490	100.0	14,018	100.0	25,508	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人，%)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数		要精検者数	精検受診者数	
			受診率			受診率			受診率
64～69	2,832	3,141	110.9	3,332	3,622	108.7	6,164	6,763	109.7
70～79	4,738	5,211	110.0	5,453	5,840	107.1	10,191	11,051	108.4
80～103	3,078	3,138	101.9	4,514	4,556	100.9	7,592	7,694	101.3
計	10,648	11,490	107.9	13,299	14,018	105.4	23,947	25,508	106.5

c 一般検査受診者に対する精密検査受診率

(単位：人，%)

年齢 (歳)	男性			女性			計		
	一般検査 受診者数	精検受診者数		一般検査 受診者数	精検受診者数		一般検査 受診者数	精検受診者数	
		受診率	受診率		受診率	受診率			
64～69	2,833	3,141	110.9	3,333	3,622	108.7	6,166	6,763	109.7
70～79	4,738	5,211	110.0	5,455	5,840	107.1	10,193	11,051	108.4
80～103	3,078	3,138	101.9	4,515	4,556	100.9	7,593	7,694	101.3
計	10,649	11,490	107.9	13,303	14,018	105.4	23,952	25,508	106.5

d 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施数	検査項目	実施数
肝機能検査	25,186	M R I	301
血糖検査	23,832	C T	494
貧血検査	3,607	胃内視鏡検査	843
リウマチ(RF)検査	23,945	大腸内視鏡検査	190
ブドウ糖負荷試験	1,499	眼底検査	1,592
Free T3	585	腹部超音波検査	495
Free T4	8,000	心臓超音波検査	458
抗甲状腺抗体	501	甲状腺超音波検査	519
免疫グロブリン	639	頸動脈超音波検査	859
白血球分類	22,899	心電図	15,538
尿沈査	1,739	トレッドミル検査	40
細胞診検査	23	スパイロメトリー検査	63
胸部レントゲン検査	2,246	C A V I	2,534
乳房撮影	2,537	体脂肪率	1,577
骨塩定量	403		

e 要治療者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	%	例数	%	例数	%
感染症	その他	6	0.06	14	0.11	20	0.08
悪性新生物	胃 癌	34	4.81	19	1.78	53	3.13
	肺 癌	39		26		65	
	多発性骨髄腫	71		69		140	
	結腸・直腸癌	15		15		30	
	乳 癌	0		25		25	
	前立腺癌	244		0		244	
	膀胱癌	28		10		38	
	甲状腺癌	17		40		57	
	食道癌	5		0		5	
その他	59	33	92				
良性新生物	その他	11	0.10	21	0.16	32	0.13
内分泌・代謝疾	糖尿病	1,964	45.42	1,327	50.97	3,291	48.50
	甲状腺腫	10		50		60	
	甲状腺機能低下症	144		438		582	
	甲状腺機能亢進症	8		44		52	
	高コレステロール血症	1,902		4,218		6,120	
	高脂血症	221		168		389	
	痛風	493		95		588	
	その他	94		438		532	
血液疾患	貧血	327	3.66	421	3.53	748	3.59
	その他	63		48		111	
精神障害・ 神経感覚器疾患	パーキンソン	24	2.80	18	2.65	42	2.72
	白内障	205		237		442	
	その他	69		98		167	
循環器疾患	高血圧	4,967	59.99	5,716	50.58	10,683	54.77
	高血圧性心疾患	2		3		5	
	虚血性心疾患	661		465		1,126	
	その他の心疾患	609		447		1,056	
	脳血管障害	97		62		159	
	その他の循環器疾患	52		34		86	
呼吸器疾患	肺炎	9	2.09	9	1.35	18	1.68
	慢性気管支炎	7		10		17	
	喘息	62		122		184	
	肺気腫	80		3		83	
	肺線維症	16		10		26	
	その他	49		25		74	
消化器疾患	胃潰瘍	30	10.16	18	6.37	48	8.06
	十二指腸潰瘍	8		5		13	
	肝機能障害	962		723		1,685	
	その他	82		101		183	
泌尿・生殖器疾	腎炎	419	18.49	214	4.17	633	10.54
	腎不全	98		40		138	
	腎機能低下症	33		29		62	
	尿路感染症	55		63		118	
	その他	1,364		208		1,572	
皮膚・筋骨格系疾	リウマチ様関節炎	134	2.85	245	9.20	379	6.38
	骨粗鬆症	133		905		1,038	
	その他	36		74		110	
その他	その他	695	6.53	779	5.86	1,474	6.16
総被検者数		10,648		13,299		23,947	

## f 要経過観察者の疾病分類

(単位：人)

疾病区分	病名	男性		女性		計	
		例数	%	例数	%	例数	%
感染症	陳旧性肺結核	1		1		2	
	その他	33	0.32	25	0.20	58	0.25
新生物	多発性骨髄腫	1		1		2	
	その他の悪性新生物	30	0.77	12	0.67	42	0.71
	その他の良性新生物	51		76		127	
内分泌・代謝疾患	耐糖能低下	448		308		756	
	甲状腺腫	47		158		205	
	その他の内分泌疾患	62	22.41	175	25.89	237	24.34
	高コレステロール血症	1,067		2,418		3,485	
	高脂血症	356		194		550	
	その他の代謝疾患	406		190		596	
血液疾患	貧血	1,198		787		1,985	
	その他	217	13.29	131	6.90	348	9.74
精神障害・ 神経感覚器疾患	精神障害	4	0.04	6	0.05	10	0.04
循環器疾患	高血圧	399		415		814	
	高血圧性心疾患	1		1		2	
	虚血性心疾患	5	9.58	6	6.90	11	8.09
	その他の心疾患	195		180		375	
	脳血管障害	33		27		60	
	その他の循環器疾患	387		288		675	
呼吸器疾患	喘息	1		1		2	
	肺気腫	29	1.36	2	0.75	31	1.02
	肺線維症	15		6		21	
	その他	100		91		191	
消化器疾患	胃炎	212		143		355	
	肝機能障害	630	9.43	405	5.26	1,035	7.12
	その他	162		152		314	
泌尿・生殖器疾患	腎炎	177	7.13	33	5.38	210	6.16
	その他	582		682		1,264	
皮膚・筋骨格系疾患	皮膚疾患	0		2		2	
	リウマチ様関節炎	29	2.42	27	5.53	56	4.15
	骨粗鬆症	218		692		910	
	その他の骨関節疾患	11		15		26	
その他	血尿	631		2,422		3,053	
	蛋白尿	554		366		920	
	高血糖	3,488	92.14	3,111	92.44	6,599	92.31
	糖尿	441		495		936	
	その他	4,697		5,900		10,597	
総被検者数		10,648		13,299		23,947	



g 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	被爆状況	病名	No.	年齢	性別	被爆状況	病名
1	67	M	3号	胃癌（早期）	41	78	M	2.5km	多発性骨髄腫
2	67	M	3号	胃癌（早期）	42	79	M	2.0km	多発性骨髄腫
3	68	M	入市	胃癌（早期）	43	81	M	3.0km	多発性骨髄腫
4	70	M	入市	胃癌（早期）	44	84	M	入市	多発性骨髄腫
5	70	M	入市	胃癌（早期）	45	66	F	入市	多発性骨髄腫
6	71	M	4.1km	胃癌（早期）	46	81	F	1.7km	多発性骨髄腫
7	73	M	4.1km	胃癌（早期）	47	81	F	入市	多発性骨髄腫
8	73	M	入市	胃癌（早期）	48	88	F	4.1km	多発性骨髄腫
9	74	M	3号	胃癌（早期）	49	89	F	入市	多発性骨髄腫
10	78	M	入市	胃癌（早期）	50	67	F	2.5km	乳癌
11	82	M	2.5km	胃癌（早期）	51	71	F	3.3km	乳癌
12	82	M	3.5km	胃癌（早期）	52	73	F	2.0km	乳癌
13	87	M	入市	胃癌（早期）	53	73	F	4.0km	乳癌
14	68	F	1.6km	胃癌（早期）	54	81	F	入市	乳癌
15	84	F	1.3km	胃癌（早期）	55	85	F	入市	乳癌
16	66	M	1.6km	胃癌（スキルス）	56	74	M	2.0km	悪性リンパ腫
17	72	M	3号	胃癌	57	77	F	3号	悪性リンパ腫
18	78	M	2.0km	胃癌	58	65	M	4号	甲状腺癌
19	84	M	入市	胃癌	59	66	F	2.0km	甲状腺癌
20	86	M	入市	胃癌	60	67	F	3.2km	甲状腺癌
21	86	M	入市	胃癌	61	67	F	4.1km	甲状腺癌
22	68	M	入市	肺癌	62	69	F	3号	甲状腺癌
23	75	M	2.0km	肺癌	63	72	F	2.0km	甲状腺癌
24	77	M	6.5km	肺癌	64	73	F	1.7km	甲状腺癌
25	79	M	3.0km	肺癌	65	80	F	1.7km	甲状腺癌
26	81	M	2.5km	肺癌	66	80	F	4.1km	甲状腺癌
27	87	M	入市	肺癌	67	65	M	3号	腎細胞癌
28	60	F	1.5km	肺癌	68	82	M	2.3km	腎癌
29	79	M	1.8km	大腸癌（早期）	69	81	M	入市	腎盂癌
30	83	M	入市	大腸癌（早期）	70	65	M	4号	前立腺癌
31	88	M	入市	大腸癌（早期）	71	79	M	1.8km	前立腺癌
32	74	F	4.1km	大腸癌（早期）	72	87	M	入市	膀胱癌
33	81	F	入市	大腸癌（進行）	73	69	M	4.1km	膵癌（中分化型管状腺癌）
34	85	M	入市	大腸癌	74	73	M	4.0km	膵癌
35	65	F	4.1km	大腸癌	75	85	F	入市	膵体尾部癌
36	69	M	入市	直腸癌	76	73	M	4.0km	転移性肺癌
37	82	M	4.1km	直腸癌	77	82	M	2.3km	転移性肺癌
38	76	F	入市	上行結腸癌（進行）	78	86	F	入市	転移性肝癌
39	73	M	4.0km	S状結腸癌	79	81	M	入市	リンパ節転移
40	70	F	みなし	腺腫内癌（S状結腸）	80	85	F	入市	癌性腹膜炎

\* [No.68・No.77] [No.69・No.79] [No.74・No.76] [No.75・No.78・No.80] は重複癌で同一症例

#### h 被爆状況にみた悪性新生物

性	被爆状況	肺 癌		大腸癌		胃 癌		多発性骨髄腫		その他の癌		合 計	
		例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%	例数	%
男 性	2.0km以内	1	16.7	1	14.3	2	10.5	1	25.0	2	15.4	7	14.3
	2.1km以上	3	50.0	2	28.6	4	21.1	2	50.0	5	38.5	16	32.7
	入市・他	2	33.3	4	57.1	13	68.4	1	25.0	6	46.2	26	53.1
	計	6	100.0	7	100.0	19	100.0	4	100.0	13	100.0	49	100.0
女 性	2.0km以内	1	100.0	0	0.0	2	100.0	1	20.0	5	27.8	9	29.0
	2.1km以上	0	0.0	2	40.0	0	0.0	1	20.0	6	33.3	9	29.0
	入市・他	0	0.0	3	60.0	0	0.0	3	60.0	7	38.9	13	41.9
	計	1	100.0	5	100.0	2	100.0	5	100.0	18	100.0	31	100.0
計	2.0km以内	2	28.6	1	8.3	4	19.0	2	22.2	7	22.6	16	20.0
	2.1km以上	3	42.9	4	33.3	4	19.0	3	33.3	11	35.5	25	31.3
	入市・他	2	28.6	7	58.3	13	61.9	4	44.4	13	41.9	39	48.8
	計	7	100.0	12	100.0	21	100.0	9	100.0	31	100.0	80	100.0

#### ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診(胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫)は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律(平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行)に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度からは、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

また、平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度からは広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

なお、平成18年度からは、乳がん検診に乳房X線検査(マンモグラフィ)が必須項目となった。

被爆者がん検診の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5のとおりである。

表4 被爆者がん検診の推移

検診	検診会場	施設検診	出張検診		
			中区・南区・西区・東区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和63年8月～	昭和63年8月～	平成2年4月～	平成4年4月～	平成5年4月～
肺がん検診					
乳がん検診			昭和63年8月～		
子宮がん検診			昭和63年8月～		
多発性骨髄腫検診			昭和63年8月～		
大腸がん検診	平成4年10月～		平成4年10月～		
骨粗鬆症検診	平成7年4月～				

表5 被爆者がん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診
昭和 54	2,165						
55	4,388						
56	2,843						
57	4,979						
58	5,446						
59	5,079						
60	5,142						
61	5,024						
62	4,973	201					
63	5,255	6,442	961	897	40,027		
平成元	3,848	8,052	809	751	43,045		
2	6,415	10,579	2,468	2,277	40,060		
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018	
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535	
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306	
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812	
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888
22	4,514	11,708	2,686	2,260	17,352	9,639	5,623
23	4,133	11,159	2,536	2,040	16,376	9,766	5,306

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診及び平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として広島市の委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県、広島市及び島根県、大阪府、山口県、東京都の委託を受けて実施したものである。

## エ 平成 23 年度被爆者がん検診等実施状況

平成 23 年度の被爆者がん検診等実施状況の詳細は以下のとおりである。

### (ア) 胃がん検診

胃がん検診における受診者は表 6 a のとおり、男性 2,248 人、女性 1,885 人、計 4,133 人であり、要精検率はそれぞれ 9.8%、6.8%、8.4%、精検実施率はそれぞれ 98.6%、98.4%、98.6% である。要精検率は女性に比し男性はやや高率であり、年齢別には、一定の傾向は見られなかった。精検実施者における精検結果は表 6 b に示すように、有所見率は男性 9.30%、女性 6.10%、全体では 7.84% であり、男性が女性に比し高率である。所見の内訳では、胃炎が 5.11% と最も高率で、ついで、胃ポリープ 1.65%、胃潰瘍 1.04% の順である。

今年度新たに発見された癌症例は、表 6 c に示すとおりである。胃癌症例は、男性では 13 例(0.58%)、女性は 2 例(0.11%)、計 15 例(0.36%)で、推定発見率はそれぞれ 0.59%、0.11%、0.37% で男性に高率である。被爆状況別の胃癌発見率に一定の傾向は見られない。

表6 原爆 胃がん検診

a 受診者数, 要精検者数および精検実施者数

(単位: 人)

年齢 (歳)	男性					女性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
65~69	784	65	8.3	65	100.0	673	31	4.6	31	100.0	1,457	96	6.6	96	100.0
70~79	1,023	107	10.5	107	100.0	810	58	7.2	56	96.6	1,833	165	9.0	163	98.8
80~95	441	48	10.9	45	93.8	402	40	10.0	40	100.0	843	88	10.4	85	96.6
計	2,248	220	9.8	217	98.6	1,885	129	6.8	127	98.4	4,133	349	8.4	344	98.6

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位: 人)

性	年齢 (歳)	精検所見												有所見者数		
		がん		胃潰瘍		胃ポリープ		十二指腸潰瘍		胃炎		その他				正常
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>				
男性	65~69	1	0.13	10	1.28	8	1.02	5	0.64	42	5.36	11	1.40	3	62	7.91
	70~79	8	0.78	15	1.47	16	1.56	5	0.49	78	7.62	26	2.54	1	106	10.36
	80~94	4	0.91	7	1.59	9	2.04	2	0.45	27	6.12	9	2.04	4	41	9.30
	計	13	0.58	32	1.42	33	1.47	12	0.53	147	6.54	46	2.05	8	209	9.30
女性	65~69	1	0.15	3	0.45	7	1.04	0	0.00	15	2.23	5	0.74	3	28	4.16
	70~79	0	0.00	4	0.49	14	1.73	1	0.12	30	3.70	6	0.74	8	48	5.93
	80~87	1	0.25	4	1.00	14	3.48	1	0.25	19	4.73	7	1.74	1	39	9.70
	計	2	0.11	11	0.58	35	1.86	2	0.11	64	3.40	18	0.95	12	115	6.10
計	65~69	2	0.14	13	0.89	15	1.03	5	0.34	57	3.91	16	1.10	6	90	6.18
	70~79	8	0.44	19	1.04	30	1.64	6	0.33	108	5.89	32	1.75	9	154	8.40
	80~94	5	0.59	11	1.30	23	2.73	3	0.36	46	5.46	16	1.90	5	80	9.49
	計	15	0.36	43	1.04	68	1.65	14	0.34	211	5.11	64	1.55	20	324	7.84

<sup>1</sup> 所見率: 所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た胃癌発見率

(単位: 人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃癌症例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>		推定発見率 <sup>4</sup>		
					発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
男性	2.0km以内直接被爆群	454	36	7.9	35	97.2	1	0.22	0.23
	2.1km以上直接被爆群	782	78	10.0	77	98.7	3	0.38	0.39
	入市・他群	1,012	106	10.5	105	99.1	9	0.89	0.90
	計	2,248	220	9.8	217	98.6	13	0.58	0.59
女性	2.0km以内直接被爆群	367	28	7.6	28	100.0	2	0.54	0.54
	2.1km以上直接被爆群	580	37	6.4	36	97.3	0	0.00	0.00
	入市・他群	938	64	6.8	63	98.4	0	0.00	0.00
	計	1,885	129	6.8	127	98.4	2	0.11	0.11
計	2.0km以内直接被爆群	821	64	7.8	63	98.4	3	0.37	0.37
	2.1km以上直接被爆群	1,362	115	8.4	113	98.3	3	0.22	0.22
	入市・他群	1,950	170	8.7	168	98.8	9	0.46	0.47
	計	4,133	349	8.4	344	98.6	15	0.36	0.37

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

(1) 肺がん検診

肺がん検診の受診者は表7 aのとおり、男性 5,300 人、女性 5,859 人、計 11,159 人である。要精検率は男性 2.4%、女性 1.9%、計 2.1%と男性に高く、加齢に伴って増加の傾向を認める。精検実施率は男性 92.1%、女性 90.0%、全体では 91.1%である。精検結果は表7 bに示すように、有所見率は男性 2.06%、女性 1.55%、計 1.79%で、男性にやや高率で、加齢に伴

って増加する傾向がみられる。所見の内訳では肺線維症 0.14%、閉塞性肺疾患 0.13%、肺炎 0.11%である。

今年度新たに発見された肺癌症例は表7cに示す如くで、男性4例(0.08%)、女性0例(0.00%)、計4例(0.04%)で、推定発見率はそれぞれ0.08%、0.00%、0.04%である。被爆状況別の肺癌発見率には、一定の傾向は見られない。

表7 原爆 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男性					女性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
64～69	1,642	34	2.1	32	94.1	1,669	20	1.2	19	95.0	3,311	54	1.6	51	94.4
70～79	2,399	55	2.3	50	90.9	2,485	51	2.1	45	88.2	4,884	106	2.2	95	89.6
80～103	1,259	38	3.0	35	92.1	1,705	39	2.3	35	89.7	2,964	77	2.6	70	90.9
計	5,300	127	2.4	117	92.1	5,859	110	1.9	99	90.0	11,159	237	2.1	216	91.1

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		が ん		肺結核		胸膜炎		閉塞性肺疾患		肺 炎		肺線維症		その他		正常	% <sup>1</sup>	
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>						
男 性	64～69	1	0.06	2	0.12	3	0.18	4	0.24	3	0.18	2	0.12	25	1.52	2	30	1.83
	70～79	2	0.08	2	0.08	3	0.13	4	0.17	3	0.13	4	0.17	44	1.83	4	46	1.92
	80～93	1	0.08	2	0.16	3	0.24	4	0.32	3	0.24	3	0.24	34	2.70	2	33	2.62
	計	4	0.08	6	0.11	9	0.17	12	0.23	9	0.17	9	0.17	103	1.94	8	109	2.06
女 性	65～69	0	0.00	0	0.00	3	0.18	1	0.06	0	0.00	0	0.00	21	1.26	1	18	1.08
	70～79	0	0.00	1	0.04	0	0.00	2	0.08	1	0.04	3	0.12	55	2.21	4	41	1.65
	80～93	0	0.00	0	0.00	1	0.06	0	0.00	2	0.12	4	0.23	38	2.23	3	32	1.88
	計	0	0.00	1	0.02	4	0.07	3	0.05	3	0.05	7	0.12	114	1.95	8	91	1.55
計	64～69	1	0.03	2	0.06	6	0.18	5	0.15	3	0.09	2	0.06	46	1.39	3	48	1.45
	70～79	2	0.04	3	0.06	3	0.06	6	0.12	4	0.08	7	0.14	99	2.03	8	87	1.78
	80～93	1	0.03	2	0.07	4	0.13	4	0.13	5	0.17	7	0.24	72	2.43	5	65	2.19
	計	4	0.04	7	0.06	13	0.12	15	0.13	12	0.11	16	0.14	217	1.94	16	200	1.79

<sup>1</sup> 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た肺癌発見率

(単位：人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
						% <sup>3</sup>	% <sup>4</sup>		
男 性	2.0km以内直接被爆群	1,146	32	2.8	31	96.9	1	0.09	0.09
	2.1km以上直接被爆群	1,890	36	1.9	30	83.3	2	0.11	0.13
	入市・他群	2,264	59	2.6	56	94.9	1	0.04	0.05
	計	5,300	127	2.4	117	92.1	4	0.08	0.08
女 性	2.0km以内直接被爆群	1,312	23	1.8	19	82.6	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,960	36	1.8	34	94.4	0	0.00	0.00
	入市・他群	2,587	51	2.0	46	90.2	0	0.00	0.00
	計	5,859	110	1.9	99	90.0	0	0.00	0.00
計	2.0km以内直接被爆群	2,458	55	2.2	50	90.9	1	0.04	0.04
	2.1km以上直接被爆群	3,850	72	1.9	64	88.9	2	0.05	0.06
	入市・他群	4,851	110	2.3	102	92.7	1	0.02	0.02
	計	11,159	237	2.1	216	91.1	4	0.04	0.04

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(ウ) 乳がん・子宮がん検診

乳がん検診の受診者数は表 8 a のとおりで 2,536 人、子宮がん検診は 2,040 人である。要精検率は、乳がん検診が 3.8%、子宮がん検診が 0.2% である。また、精検実施率はそれぞれ 97.9%、100.0% である。

表 8 b にそれぞれの精検結果を示す。乳がん検診の有所見率は 2.13% である。所見の内訳は線維腺腫が 0.75% と最も多く、ついで乳腺症 0.51%、乳癌 0.24% の順である。子宮がん検診の有所見率は 0.15% である。

今年度新たに発見された乳癌は表 8 c に示す如く 6 例(0.24%)で、子宮癌は 0 例(0.00%)であった。乳癌の推定発見率は 0.24% であり、被爆状況別には、乳癌発見率には一定の傾向は見られない

表 8 原爆 乳がん・子宮がん

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

乳がん検診	年齢(歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮がん検診	年齢(歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>							
	64~69	972	32	3.3	31	96.9		65~69	791	1	0.1	1	100.0
	70~79	1,152	48	4.2	48	100.0		70~79	928	2	0.2	2	100.0
	80~93	412	17	4.1	16	94.1		80~93	321	2	0.6	2	100.0
	計	2,536	97	3.8	95	97.9		計	2,040	5	0.2	5	100.0

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

乳がん検診	年齢(歳)	精検所見									有所見者数	
		がん	線維腺腫		乳腺症		その他		正常		% <sup>1</sup>	
			% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>						
	65~69	1	0.10	8	0.82	6	0.62	6	0.62	11	20	2.06
	70~79	3	0.26	10	0.87	4	0.35	9	0.78	25	23	2.00
	80~86	2	0.49	1	0.24	3	0.73	5	1.21	5	11	2.67
	計	6	0.24	19	0.75	13	0.51	20	0.79	41	54	2.13

子宮がん検診	年齢(歳)	精検所見							有所見者数			
		がん	中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		% <sup>1</sup>	
			% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>						
	67~69	0	0.00	0	0.00	1	0.13	0	0.00	0	1	0.13
	70~79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0	0.00
	80	0	0.00	1	0.31	0	0.00	1	0.31	0	2	0.62
	計	0	0.00	1	0.05	1	0.05	1	0.05	2	3	0.15

<sup>1</sup> 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た乳癌・子宮癌発見率

(単位:人)

乳がん検診	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳癌症例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
							% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	
	2.0km以内直接被爆群	545	25	4.6	24	96.0	1	0.18	0.19
	2.1km以上直接被爆群	833	40	4.8	39	97.5	3	0.36	0.37
	入市・他群	1,158	32	2.8	32	100.0	2	0.17	0.17
	計	2,536	97	3.8	95	97.9	6	0.24	0.24

子宮がん検診	被曝状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子宮癌症例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
							% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	
	2.0km以内直接被爆群	421	2	0.5	2	100.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	650	2	0.3	2	100.0	0	0.00	0.00
	入市・他群	969	1	0.1	1	100.0	0	0.00	0.00
	計	2,040	5	0.2	5	100.0	0	0.00	0.00

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(I) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者は 16,376 人であり、その内訳は男性 7,142 人、女性 9,234 人で、要精検率はそれぞれ 4.6%、3.5%で全体では 4.0%である(表 9 a)。また、精検実施率はそれぞれ 100.0%である。精検結果は表 9 bのとおりで、有所見率は男性 2.83%、女性 1.85%、計 2.28%である。その内訳で最も多くみられるのは前骨髄腫 0.81%で、ついで骨髄腫 0.64%、良性 M 蛋白血症 0.51%、マクログロブリン血症 0.31%の順である。

表 9 原爆 多発性骨髄腫検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
64～69	2,048	65	3.2	65	100.0	2,430	55	2.3	55	100.0	4,478	120	2.7	120	100.0
70～79	3,156	146	4.6	146	100.0	3,798	121	3.2	121	100.0	6,954	267	3.8	267	100.0
80～103	1,938	118	6.1	118	100.0	3,006	151	5.0	151	100.0	4,944	269	5.4	269	100.0
計	7,142	329	4.6	329	100.0	9,234	327	3.5	327	100.0	16,376	656	4.0	656	100.0

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見								有所見者数		
		骨髄腫		前骨髄腫		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症				M蛋白 (-)
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>			
男 性	65～69	14	0.68	13	0.63	7	0.34	7	0.34	24	41	2.00
	70～79	21	0.67	35	1.11	13	0.41	25	0.79	52	94	2.98
	80～103	19	0.98	21	1.08	13	0.67	14	0.72	50	67	3.46
	計	54	0.76	69	0.97	33	0.46	46	0.64	126	202	2.83
女 性	65～69	8	0.33	8	0.33	1	0.04	1	0.04	35	18	0.74
	70～79	20	0.53	27	0.71	9	0.24	19	0.50	46	75	1.97
	80～96	23	0.77	29	0.96	8	0.27	18	0.60	70	78	2.59
	計	51	0.55	64	0.69	18	0.19	38	0.41	151	171	1.85
計	65～69	22	0.49	21	0.47	8	0.18	8	0.18	59	59	1.32
	70～79	41	0.59	62	0.89	22	0.32	44	0.63	98	169	2.43
	80～103	42	0.85	50	1.01	21	0.42	32	0.65	120	145	2.93
	計	105	0.64	133	0.81	51	0.31	84	0.51	277	373	2.28

<sup>1</sup> 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位：人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		骨髄腫症例数		新規骨髄腫症例 <sup>1</sup>		
			% <sup>2</sup>		% <sup>3</sup>		% <sup>4</sup>		発見率 <sup>4</sup>	推定発見率 <sup>5</sup>	
			% <sup>2</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>3</sup>	% <sup>3</sup>	% <sup>4</sup>	% <sup>4</sup>			
男 性	2.0km以内直接被爆群	1,558	89	5.7	89	100.0	12	0.77	1	0.06	0.06
	2.1km以上直接被爆群	2,522	88	3.5	88	100.0	22	0.87	2	0.08	0.08
	入市・他群	3,062	152	5.0	152	100.0	20	0.65	1	0.03	0.03
	計	7,142	329	4.6	329	100.0	54	0.76	4	0.06	0.06
女 性	2.0km以内直接被爆群	2,064	76	3.7	76	100.0	9	0.44	1	0.05	0.05
	2.1km以上直接被爆群	3,111	102	3.3	102	100.0	19	0.61	1	0.03	0.03
	入市・他群	4,059	149	3.7	149	100.0	23	0.57	3	0.07	0.07
	計	9,234	327	3.5	327	100.0	51	0.55	5	0.05	0.05
計	2.0km以内直接被爆群	3,622	165	4.6	165	100.0	21	0.58	2	0.06	0.06
	2.1km以上直接被爆群	5,633	190	3.4	190	100.0	41	0.73	3	0.05	0.05
	入市・他群	7,121	301	4.2	301	100.0	43	0.60	4	0.06	0.06
	計	16,376	656	4.0	656	100.0	105	0.64	9	0.05	0.05

<sup>1</sup> 今年度新たに発見された癌症例数

<sup>3</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>2</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>5</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

<sup>4</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

骨髄腫症例は男性 54 例(0.76%)、女性 51 例(0.55%)、計 105 例(0.64%)である。そのうち、今年度新たに発見された症例は、表 9 c に示すように、男性 4 例(0.06%)、女性 5 例(0.05%)、計 9 例(0.05%)で、推定発見率はそれぞれ 0.06%、0.05%、0.05%である。被爆状況別の多発性骨髄腫発見率には、一定の傾向は見られない。

(オ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表 10 a に示すとおり、男性 4,410 人、女性 5,356 人、計

表 10 原爆 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
64～69	1,161	58	5.0	11	19.0	1,384	41	3.0	9	22.0	2,545	99	3.9	20	20.2
70～79	2,010	105	5.2	19	18.1	2,246	76	3.4	10	13.2	4,256	181	4.3	29	16.0
80～103	1,239	91	7.3	21	23.1	1,726	123	7.1	13	10.6	2,965	214	7.2	34	15.9
計	4,410	254	5.8	51	20.1	5,356	240	4.5	32	13.3	9,766	494	5.1	83	16.8

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見								有所見者数		
		が ん		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		そ の 他				正 常
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>					
男 性	65～69	1	0.09	3	0.26	3	0.26	2	0.17	2	9	0.78
	70～79	2	0.10	5	0.25	7	0.35	10	0.50	4	15	0.75
	80～93	4	0.32	2	0.16	9	0.73	7	0.56	3	18	1.45
	計	7	0.16	10	0.23	19	0.43	19	0.43	9	42	0.95
女 性	65～69	1	0.07	3	0.22	0	0.00	3	0.22	2	7	0.51
	70～79	3	0.13	0	0.00	5	0.22	1	0.04	3	7	0.31
	80～98	1	0.06	4	0.23	3	0.17	5	0.29	3	10	0.58
	計	5	0.09	7	0.13	8	0.15	9	0.17	8	24	0.45
計	65～69	2	0.08	6	0.24	3	0.12	5	0.20	4	16	0.63
	70～79	5	0.12	5	0.12	12	0.28	11	0.26	7	22	0.52
	80～98	5	0.17	6	0.20	12	0.40	12	0.40	6	28	0.94
	計	12	0.12	17	0.17	27	0.28	28	0.29	17	66	0.68

<sup>1</sup> 所見率：所見例数/受診者数×100

c 被爆状況別に見た大腸癌発見率

(単位：人)

性	被爆状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大 腸 癌 症 例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
							発見率 <sup>3</sup>		
男 性	2.0km以内直接被爆群	933	51	5.5	8	15.7	1	0.11	0.68
	2.1km以上直接被爆群	1,510	85	5.6	17	20.0	2	0.13	0.66
	入 市 ・ 他 群	1,967	118	6.0	26	22.0	4	0.20	0.92
	計	4,410	254	5.8	51	20.1	7	0.16	0.79
女 性	2.0km以内直接被爆群	1,129	51	4.5	8	15.7	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,729	79	4.6	9	11.4	2	0.12	1.02
	入 市 ・ 他 群	2,498	110	4.4	15	13.6	3	0.12	0.88
	計	5,356	240	4.5	32	13.3	5	0.09	0.70
計	2.0km以内直接被爆群	2,062	102	4.9	16	15.7	1	0.05	0.31
	2.1km以上直接被爆群	3,239	164	5.1	26	15.9	4	0.12	0.78
	入 市 ・ 他 群	4,465	228	5.1	41	18.0	7	0.16	0.87
	計	9,766	494	5.1	83	16.8	12	0.12	0.73

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100



9,766 人であり、要精検率はそれぞれ 5.8%、4.5%、5.1%である。精検実施率は、男性 20.1%、女性 13.3%、全体で 16.8%である。精検結果は表 10 b に示す如く、最も多いのは非腫瘍性ポリープ 0.28%、ついで腺腫 0.17%、大腸癌 0.12%の順である。

今年度新たに発見された大腸癌症例は表 10 c のとおり男性 7 例(0.16%)、女性 5 例(0.09%)、計 12 例(0.12%)であり、推定発見率はそれぞれ 0.79%、0.70%、0.73%であった。被爆状況別の大腸癌発見率は、一定の傾向はみられない。

#### (カ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要因の一つである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成 7 年 4 月より実施されている。今年度の受診者の内訳は表 11 a に示すとおりで男性 2,501 人、女性 2,805 人、計 5,306 人であり、女性における関心の高さが示されている。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性 15.1%、女性 44.8%、計 30.8%である。女性は男性に比して高率であった。被爆状況別にみた結果を表 11 b に示すが、男女とも被爆状況別には一定の傾向は認められない。

表 11 原爆 骨粗鬆症検診

#### a 受診者数および結果

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	受診者数	測 定 結 果					
			減少なし	減少あり			計	% <sup>1</sup>
				軽度	中等度	高 度		
男 性	65～69	807	673	0	103	31	134	16.6
	70～79	1,221	1,044	0	132	45	177	14.5
	80～96	473	407	0	53	13	66	14.0
	計	2,501	2,124	0	288	89	377	15.1
女 性	64～69	962	546	0	269	147	416	43.2
	70～79	1,278	689	0	332	257	589	46.1
	80～96	565	314	0	126	125	251	44.4
	計	2,805	1,549	0	727	529	1,256	44.8
計	64～69	1,769	1,219	0	372	178	550	31.1
	70～79	2,499	1,733	0	464	302	766	30.7
	80～96	1,038	721	0	179	138	317	30.5
	計	5,306	3,673	0	1,015	618	1,633	30.8

<sup>1</sup> 所見率：所見例数/受診者数×100

#### b 被爆状況別に見た骨密度測定結果

(単位：人)

性	被 爆 状 況	受診者数	測 定 結 果					
			減少なし	減少あり			計	% <sup>1</sup>
				軽度	中等度	高 度		
男 性	2.0km以内直接被爆群	581	498	0	64	19	83	14.3
	2.1km以上直接被爆群	899	769	0	106	24	130	14.5
	入 市・他 群	1,021	857	0	118	46	164	16.1
	計	2,501	2,124	0	288	89	377	15.1
女 性	2.0km以内直接被爆群	654	380	0	160	114	274	41.9
	2.1km以上直接被爆群	965	548	0	247	170	417	43.2
	入 市・他 群	1,186	621	0	320	245	565	47.6
	計	2,805	1,549	0	727	529	1,256	44.8
計	2.0km以内直接被爆群	1,235	878	0	224	133	357	28.9
	2.1km以上直接被爆群	1,864	1,317	0	353	194	547	29.3
	入 市・他 群	2,207	1,478	0	438	291	729	33.0
	計	5,306	3,673	0	1,015	618	1,633	30.8

<sup>1</sup> 所見率：所見例数/受診者数×100

オ 原爆被爆者二世健康診断の実施

原爆被爆者二世の健康面での不安を除く等のために、昭和 48 年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和 54 年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）平成 13 年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。

なお、平成 2 年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆者二世健康診断の実施状況は表 12 のとおりである。

表 12 原爆被爆者二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年 度	一般検査	精密検査	精検実施率	年 度	一般検査	精密検査	精検実施率
昭和 48	578	580	100.3	5	2,508	1,610	64.2
49	109	110	100.9	6	2,297	1,698	73.9
50	82	83	101.2	7	2,391	1,936	81.0
51	51	51	100.0	8	2,475	2,138	86.4
52	131	129	98.5	9	2,867	2,309	80.5
53	124	126	101.6	10	2,786	2,796	100.4
54	1,942	1,768	91.0	11	3,201	3,202	100.0
55	1,041	626	60.1	12	3,711	3,711	100.0
56	854	494	57.8	13	3,762	3,762	100.0
57	995	572	57.5	14	2,919	2,919	100.0
58	1,152	663	57.6	15	3,150	3,150	100.0
59	1,551	853	55.0	16	2,483	2,483	100.0
60	1,798	1,072	59.6	17	2,678	2,678	100.0
61	1,967	1,155	58.7	18	2,497	2,497	100.0
62	2,250	1,314	58.4	19	2,477	2,477	100.0
63	2,780	1,551	55.8	20	2,428	2,428	100.0
平成元	2,417	1,161	48.0	21	2,565	2,565	100.0
2	2,078	1,127	54.2	22	2,486	2,486	100.0
3	2,132	1,219	57.2	23	2,344	2,344	100.0
4	2,309	1,520	65.8				

(2) 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等

ア 高齢者の医療の確保に関する法律等による健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年9月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表1、検査項目は表2、実施状況は表3のとおりである。

表1 検診内容・検診区域の推移

検診会場 検診項目	施設検診	出張検診			
		中区・南区・西区・東区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老健法基本健康診査	元. 9～20.3	2. 4～20.3		10. 4～20.3*	10. 4～20.3*◇
胃がん検診	元. 9～	2. 4～	4. 4～	5. 4～	
肺がん検診		8. 4～			
乳がん検診		2. 4～	4. 4～	5. 4～	
子宮がん検診	4. 11～	4. 11～		10. 4～*	10. 4～*◇
大腸がん検診					
結核健診	元. 9～	2. 4～			
骨粗鬆症検診	7. 10～				
マンモグラフィ検診	9. 4～17.3 <sup>◎</sup>				
C型・B型肝炎ウイルス検査	10. 10～	10. 10～		10. 10～*	10. 10～*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～	20.5～		20.5～*	20.5～*

「元.9～」は、平成元年9月から検診を開始したことを示す。

\* 日曜検診のみ

白木町は平成2年4月から13年3月まで。

平成17年度からは、乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目となった。

表2 健診種別及び検査項目（平成23年度）

種別	対象者（広島市内在住者）	検査項目
特定健康診査	40歳以上75歳未満(被爆者含む) [年度内に40歳になる39歳の方は受診可、年度内に75歳になる74歳の方は受診不可]	必須検査：身体計測・腹囲測定・血圧測定・脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査・診察
健康診査	医療保険未加入者 上記年齢者の医療保険未加入者	選択検査：貧血検査・心電図・眼底検査 (医師の判断により実施)
	後期高齢者医療被保険者 75歳以上の方(被爆者含む) [年度内に75歳になる74歳の方は受診可]	身体計測・血圧測定・脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査・診察
がん検診	胃がん検診 40歳以上の方	胃部X線撮影
	肺がん検診 40歳以上の方	胸部X線撮影(間接)、喀痰細胞診検査
	乳がん検診 40歳以上の女性、2年に1回 [4月1日現在偶数歳]	視診、触診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診 20歳以上の女性、2年に1回 [4月1日現在偶数歳]	視診、内診、細胞診(頸部)
	大腸がん検診 40歳以上の方	便潜血二日法
結核健康診断	65歳以上の方 [年度内に65歳になる64歳の方は受診可]	胸部X線撮影(間接)
骨粗鬆症検診	女性：20歳から5歳間隔の年齢の方 男性：40歳から5歳間隔の年齢の方	骨塩定量検査(超音波方式)
C型・B型肝炎ウイルス検査 (肝がん検診)	節目検診 40歳の方	HCV抗体検査+HBs抗原検査
	未受診者検診 過去に肝炎ウイルス検診の対象者であって、受診の機会を逸した方	(必要に応じてHCV抗原検査、HCV核酸同定検査を実施)

表3 実施状況

(単位：件)

年 度	基本健康診査		が ん 検 診					結核定期健康診断	骨粗鬆症検 診	マンモグラフィ検 診	C型・B型肝炎ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	-	374	-	-	-
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	-	22,683	-	-	-
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	-	22,433	-	-	-
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	-	-	-
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	-	-	-
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	-	-	-
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	-	-
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	-	-
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	-
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査(注)		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	12,685										
21			14,519	17,718	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435
22			13,239	17,153	18,905	10,027	9,793	10,086	11,387	2,072	107
23			13,713	16,477	19,080	10,636	10,025	14,325	11,175	2,147	111

(注) 特定健康診査は、医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。

## イ 平成23年度健康診査等実施状況

## (ア) 特定健康診査

平成23年度の特定健康診査の受診者数は、表4aに示すように男性5,956人、女性7,757人、計13,713人であった。年齢別にみると、男女とも60歳代と70歳代が多かった。区別の受診者数では、西区が17.2%と最も多く、ついで南区が16.5%、佐伯区が15.6%、中区、東区が14%台であった(表4b)。

表4 特定健康診査

## a 受診者数(被爆者360人含む)

(単位：人)

年 齢 ( 歳 )	男 性		女 性		計	
		%		%		%
39～49	491	8.2	547	7.1	1,038	7.6
50～59	475	8.0	728	9.4	1,203	8.8
60～69	2,071	34.8	3,300	42.5	5,371	39.2
70～79	2,424	40.7	2,783	35.9	5,207	38.0
80～97	495	8.3	399	5.1	894	6.5
計	5,956	100.0	7,757	100.0	13,713	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		%		%		%
中 区	824	13.8	1,209	15.6	2,033	14.8
南 区	944	15.8	1,314	16.9	2,258	16.5
西 区	1,023	17.2	1,330	17.1	2,353	17.2
東 区	886	14.9	1,130	14.6	2,016	14.7
安 芸 区	274	4.6	352	4.5	626	4.6
安 佐 南 区	618	10.4	707	9.1	1,325	9.7
安 佐 北 区	450	7.6	514	6.6	964	7.0
佐 伯 区	937	15.7	1,201	15.5	2,138	15.6
計	5,956	100.0	7,757	100.0	13,713	100.0

(1) 胃がん検診

胃がん検診の実施状況は表5 aに示すとおり、男性6,686人、女性9,791人、計16,477人であり、要精検率はそれぞれ9.9%、5.4%、7.2%で、女性に比し男性で高率の傾向がみられる。精検実施率は男性86.1%、女性89.7%、計87.7%である。

精検実施者における精検結果は表5 bの如く、有所見率は男性7.96%、女性4.32%、計5.80%であり、男性が女性に比し高率である。

所見の内訳は、胃炎が3.88%と最も多く、ついで胃ポリープ1.58%、胃潰瘍0.68%の順で、がんは0.23%である。また、男女別の所見の内訳でも男女とも胃炎が最も多く、次いで胃ポリープ、胃潰瘍の順であった。

今年度新たに発見された癌症例は表5 cに示すとおりである。胃癌症例は、男性で26例(0.39%)、女性では12例(0.12%)、計38例(0.23%)であり、推定発見率はそれぞれ0.45%、0.14%、0.26%と男性に高率である。検診状況別の推定発見率は施設検診0.22%、集団検診0.30%である。

表5 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
40～49	639	33	5.2	30	90.9	1,658	59	3.6	52	88.1	2,297	92	4.0	82	89.1
50～59	455	33	7.3	25	75.8	1,490	56	3.8	53	94.6	1,945	89	4.6	78	87.6
60～69	2,737	282	10.3	240	85.1	3,995	218	5.5	201	92.2	6,732	500	7.4	441	88.2
70～79	2,427	265	10.9	237	89.4	2,358	173	7.3	148	85.5	4,785	438	9.2	385	87.9
80～95	428	48	11.2	37	77.1	290	20	6.9	18	90.0	718	68	9.5	55	80.9
計	6,686	661	9.9	569	86.1	9,791	526	5.4	472	89.7	16,477	1,187	7.2	1,041	87.7

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

## b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見													有所見者数	
		がん		胃潰瘍		胃ポリープ		十二指腸潰瘍		胃 炎		その他		正常		% <sup>1</sup>
			% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>			
男 性	40～49	0	0.00	3	0.47	7	1.10	5	0.78	12	1.88	8	1.25	6	24	3.76
	50～59	3	0.66	8	1.76	3	0.66	2	0.44	14	3.08	5	1.10	0	25	5.49
	60～69	10	0.37	37	1.35	31	1.13	17	0.62	169	6.17	61	2.23	13	227	8.29
	70～79	12	0.49	35	1.44	58	2.39	15	0.62	156	6.43	63	2.60	14	223	9.19
	80～89	1	0.23	3	0.70	8	1.87	3	0.70	23	5.37	10	2.34	4	33	7.71
	計	26	0.39	86	1.29	107	1.60	42	0.63	374	5.59	147	2.20	37	532	7.96
女 性	40～49	0	0.00	1	0.06	15	0.90	4	0.24	18	1.09	7	0.42	16	36	2.17
	50～59	0	0.00	4	0.27	14	0.94	2	0.13	32	2.15	9	0.60	6	47	3.15
	60～69	4	0.10	11	0.28	68	1.70	14	0.35	129	3.23	46	1.15	13	188	4.71
	70～79	7	0.30	9	0.38	52	2.21	8	0.34	76	3.22	31	1.31	13	135	5.73
	80～89	1	0.34	1	0.34	4	1.38	0	0.00	10	3.45	5	1.72	1	17	5.86
	計	12	0.12	26	0.27	153	1.56	28	0.29	265	2.71	98	1.00	49	423	4.32
計	40～49	0	0.00	4	0.17	22	0.96	9	0.39	30	1.31	15	0.65	22	60	2.61
	50～59	3	0.15	12	0.62	17	0.87	4	0.21	46	2.37	14	0.72	6	72	3.70
	60～69	14	0.21	48	0.71	99	1.47	31	0.46	298	4.43	107	1.59	26	415	6.16
	70～79	19	0.40	44	0.92	110	2.30	23	0.48	232	4.85	94	1.96	27	358	7.48
	80～89	2	0.28	4	0.56	12	1.67	3	0.42	33	4.60	15	2.09	5	50	6.96
	計	38	0.23	112	0.68	260	1.58	70	0.42	639	3.88	245	1.49	86	955	5.80

<sup>1</sup> 有所見率：有所見例数(食道がんを含む)/受診者数×100

## c 検診状況別に見た胃癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		胃 癌 症 例		
				% <sup>1</sup>		% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>	
男 性	施設 検 診	3,114	319	10.2	274	85.9	12	0.39	0.45
	集団 検 診	3,572	342	9.6	295	86.3	14	0.39	0.45
	計	6,686	661	9.9	569	86.1	26	0.39	0.45
女 性	施設 検 診	4,563	231	5.1	207	89.6	3	0.07	0.07
	集団 検 診	5,228	295	5.6	265	89.8	9	0.17	0.19
	計	9,791	526	5.4	472	89.7	12	0.12	0.14
計	施設 検 診	7,677	550	7.2	481	87.5	15	0.20	0.22
	集団 検 診	8,800	637	7.2	560	87.9	23	0.26	0.30
	計	16,477	1,187	7.2	1,041	87.7	38	0.23	0.26

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100<sup>3</sup> 発見率：症例数(食道がんを含む)/受診者数×100<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

## (ウ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すように、男性 7,826 人、女性 11,254 人、計 19,080 人で、要精検率はそれぞれ 4.0%、3.0%、3.4%、精検実施率はそれぞれ 84.6%、87.6%、86.1% である。

精検結果は表 6 b のとおりで、有所見率は男性 2.47%、女性 1.63%、計 1.97% で、所見の内訳は、閉塞性肺炎患 0.20%、肺線維症 0.12%、肺結核 0.10%、胸膜炎 0.10% である。

今年度新たに発見された肺癌症例は男性 11 例(0.14%)、女性 9 例(0.08%)、計 20 例(0.10%) であり、推定発見率は表 6 c に示すとおり 0.17%、0.09%、0.12% である。検診状況別の推定発見率は施設検診 0.12%、集団検診 0.12% である。

表6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
40～49	693	17	2.5	13	76.5	1,415	21	1.5	17	81.0	2,108	38	1.8	30	78.9
50～59	602	15	2.5	12	80.0	1,454	42	2.9	37	88.1	2,056	57	2.8	49	86.0
60～69	2,911	102	3.5	88	86.3	4,607	136	3.0	124	91.2	7,518	238	3.2	212	89.1
70～79	3,007	137	4.6	124	90.5	3,302	115	3.5	100	87.0	6,309	252	4.0	224	88.9
80～95	613	40	6.5	26	65.0	476	24	5.0	18	75.0	1,089	64	5.9	44	68.8
計	7,826	311	4.0	263	84.6	11,254	338	3.0	296	87.6	19,080	649	3.4	559	86.1

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見者数		
		が ん		肺結核		胸膜炎		閉塞性肺疾患		肺 炎		肺線維症		その他				正常
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>		
男 性	40～49	0	0.00	1	0.14	1	0.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	44	6.35	5	8	1.15
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	38	6.31	7	5	0.83
	60～69	1	0.03	7	0.24	5	0.17	16	0.55	0	0.00	3	0.10	249	8.55	25	63	2.16
	70～79	9	0.30	2	0.07	6	0.20	17	0.57	0	0.00	11	0.37	339	11.27	30	94	3.13
	80～93	1	0.16	2	0.33	0	0.00	3	0.49	0	0.00	3	0.49	108	17.62	3	23	3.75
	計	11	0.14	12	0.15	12	0.15	36	0.46	0	0.00	17	0.22	778	9.94	70	193	2.47
女 性	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	54	3.82	9	8	0.57
	50～59	1	0.07	1	0.07	1	0.07	1	0.07	2	0.14	0	0.00	104	7.15	17	20	1.38
	60～69	5	0.11	3	0.07	5	0.11	2	0.04	3	0.07	3	0.07	341	7.40	47	77	1.67
	70～79	3	0.09	4	0.12	2	0.06	0	0.00	0	0.00	1	0.03	302	9.15	34	66	2.00
	80～90	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	0.42	64	13.45	6	12	2.52
	計	9	0.08	8	0.07	8	0.07	3	0.03	5	0.04	6	0.05	865	7.69	113	183	1.63
計	40～49	0	0.00	1	0.05	1	0.05	0	0.00	0	0.00	0	0.00	98	4.65	14	16	0.76
	50～59	1	0.05	1	0.05	1	0.05	1	0.05	2	0.10	0	0.00	142	6.91	24	25	1.22
	60～69	6	0.08	10	0.13	10	0.13	18	0.24	3	0.04	6	0.08	590	7.85	72	140	1.86
	70～79	12	0.19	6	0.10	8	0.13	17	0.27	0	0.00	12	0.19	641	10.16	64	160	2.54
	80～93	1	0.09	2	0.18	0	0.00	3	0.28	0	0.00	5	0.46	172	15.79	9	35	3.21
	計	20	0.10	20	0.10	20	0.10	39	0.20	5	0.03	23	0.12	1,643	8.61	183	376	1.97

<sup>1</sup> 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肺癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肺 癌 症 例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
男 性	施設検診	4,144	150	3.6	125	83.3	5	0.12	0.14
	集団検診	3,682	161	4.4	138	85.7	6	0.16	0.19
	計	7,826	311	4.0	263	84.6	11	0.14	0.17
女 性	施設検診	6,515	174	2.7	150	86.2	6	0.09	0.11
	集団検診	4,739	164	3.5	146	89.0	3	0.06	0.07
	計	11,254	338	3.0	296	87.6	9	0.08	0.09
計	施設検診	10,659	324	3.0	275	84.9	11	0.10	0.12
	集団検診	8,421	325	3.9	284	87.4	9	0.11	0.12
	計	19,080	649	3.4	559	86.1	20	0.10	0.12

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

## (I) 乳がん検診

乳がん検診は、平成17年4月より、問診、視診及び触診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を40歳以上の対象者に2年に1回行うこととなった。表7 aに示すように、今年度の乳がん検診の受診者数は10,636人、要精検率6.2%、精検実施率は87.4%である。

精検結果を表7 bに示す。乳がん検診全体での有所見率は3.50%で、内訳は乳腺症1.31%、線維腺腫0.65%、乳癌0.39%である。今年度新たに発見された乳癌は42例、推定発見率は0.45%である（表7 c）。検診状況別の推定発見率は施設検診0.68%、集団検診0.23%である。

表7 乳がん検診

### a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

（単位：人）

年齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>		% <sup>2</sup>	
40～49	2,530	233	9.2	202	86.7
50～59	2,034	135	6.6	113	83.7
60～69	3,933	191	4.9	166	86.9
70～79	1,943	92	4.7	88	95.7
80～94	196	8	4.1	7	87.5
計	10,636	659	6.2	576	87.4

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

### b 精検結果

（単位：人）

年齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
	が ん		線維腺腫		乳腺症		その他		正常		% <sup>1</sup>
		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>			
40～49	8	0.32	36	1.42	60	2.37	49	1.94	58	144	5.69
50～59	2	0.10	13	0.64	28	1.38	27	1.33	41	72	3.54
60～69	18	0.46	11	0.28	38	0.97	40	1.02	62	104	2.64
70～79	13	0.67	8	0.41	11	0.57	16	0.82	40	48	2.47
80～90	1	0.51	1	0.51	2	1.02	0	0.00	3	4	2.04
計	42	0.39	69	0.65	139	1.31	132	1.24	204	372	3.50

<sup>1</sup> 有所見率：有所見例数/受診者数×100

### c 検診状況別に見た乳癌発見率

（単位：人）

検診状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		乳癌症例		
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
						発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>	
施設検診	5,252	376	7.2	325	86.4	31	0.59	0.68
集団検診	5,384	283	5.3	251	88.7	11	0.20	0.23
計	10,636	659	6.2	576	87.4	42	0.39	0.45

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

## (II) 子宮がん検診

子宮がん検診は、20歳以上の対象者が、2年に1回受診することができる。表8 aに示すように、今年度の子宮がん検診の受診者は10,025人で、要精検率は1.6%、精検実施率は87.5%である。

精検結果を表8 bに示す。有所見率は1.20%で、軽度異型上皮0.41%、中・高度異型上皮0.41%、子宮癌0.11%である。今年度新たに発見された子宮癌は11例、推定発見率は0.13%である（表8 c）。検診状況別の推定発見率は、施設検診0.17%、集団検診0.10%である。



表8 子宮がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数 (単位：人)

年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検実施者数	
			% <sup>1</sup>		% <sup>2</sup>
20～29	471	17	3.6	15	88.2
30～39	1,572	49	3.1	47	95.9
40～49	1,784	45	2.5	38	84.4
50～59	1,342	10	0.7	8	80.0
60～69	3,077	28	0.9	23	82.1
70～79	1,617	10	0.6	8	80.0
80～90	162	1	0.6	1	100.0
計	10,025	160	1.6	140	87.5

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位：人)

年齢 (歳)	精 検 所 見									有所見者数	
	が ん		中・高度異型上皮		軽度異型上皮		その他		正常		
		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>		% <sup>1</sup>			
20～29	0	0.00	3	0.64	7	1.49	5	1.06	2	13	2.76
30～39	2	0.13	15	0.95	17	1.08	8	0.51	7	40	2.54
40～49	5	0.28	9	0.50	11	0.62	9	0.50	4	34	1.91
50～59	1	0.07	0	0.00	3	0.22	3	0.22	2	6	0.45
60～69	2	0.06	8	0.26	3	0.10	5	0.16	5	18	0.58
70～79	1	0.00	6	0.37	0	0.00	2	0.12	0	8	0.49
80	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1	0.62
計	11	0.11	41	0.41	41	0.41	32	0.32	20	120	1.20

<sup>1</sup> 有所見率：有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た子宮癌発見率

(単位：人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		子 宮 癌 症 例		
			% <sup>1</sup>		% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>	
施設検診	4,132	59	1.4	51	86.4	6	0.15	0.17
集団検診	5,893	101	1.7	89	88.1	5	0.08	0.10
計	10,025	160	1.6	140	87.5	11	0.11	0.13

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者の内訳は表9 a に示すとおり、男性 5,623 人、女性 8,702 人、計 14,325 人である。要精検率はそれぞれ 7.5%、5.7%、6.4%で、精検実施率は 73.7%、72.4%、73.0% である。

精検結果は表9 b に示す如く、有所見率は 3.13%で、内訳は、非腫瘍性ポリープ 1.17%、腺腫 1.08%、大腸癌 0.30%である。今年度新たに発見された大腸癌は 43 例で、推定発見率は 0.41%である(表9 c)。検診状況別の推定発見率は、施設検診 0.44%、集団検診 0.33%という結果である。

表9 大腸がん検診

## a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
40～49	847	55	6.5	30	54.5	1,732	122	7.0	78	63.9	2,579	177	6.9	108	61.0
50～59	679	56	8.2	40	71.4	1,587	97	6.1	69	71.1	2,266	153	6.8	109	71.2
60～69	2,063	166	8.0	134	80.7	3,239	173	5.3	137	79.2	5,302	339	6.4	271	79.9
70～79	1,738	119	6.8	88	73.9	1,899	88	4.6	62	70.5	3,637	207	5.7	150	72.5
80～97	296	26	8.8	19	73.1	245	13	5.3	11	84.6	541	39	7.2	30	76.9
計	5,623	422	7.5	311	73.7	8,702	493	5.7	357	72.4	14,325	915	6.4	668	73.0

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100

## b 精検結果

(単位：人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見								有所見者数		
		が ん		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		その他				正常
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>					
男 性	40～49	0	0.00	8	0.94	6	0.71	3	0.35	13	17	2.01
	50～59	3	0.44	14	2.06	9	1.33	12	1.77	8	32	4.71
	60～69	11	0.53	39	1.89	36	1.75	25	1.21	39	95	4.60
	70～79	7	0.40	29	1.67	30	1.73	20	1.15	16	72	4.14
	80～90	0	0.00	2	0.68	7	2.36	4	1.35	6	13	4.39
	計	21	0.37	92	1.64	88	1.57	64	1.14	82	229	4.07
女 性	40～49	3	0.17	9	0.52	11	0.64	18	1.04	43	35	2.02
	50～59	3	0.19	11	0.69	18	1.13	12	0.76	31	38	2.39
	60～69	14	0.43	27	0.83	26	0.80	39	1.20	46	91	2.81
	70～79	2	0.11	14	0.74	19	1.00	21	1.11	16	46	2.42
	80～86	0	0.00	2	0.82	5	2.04	5	2.04	2	9	3.67
	計	22	0.25	63	0.72	79	0.91	95	1.09	138	219	2.52
計	40～49	3	0.12	17	0.66	17	0.66	21	0.81	56	52	2.02
	50～59	6	0.26	25	1.10	27	1.19	24	1.06	39	70	3.09
	60～69	25	0.47	66	1.24	62	1.17	64	1.21	85	186	3.51
	70～79	9	0.25	43	1.18	49	1.35	41	1.13	32	118	3.24
	80～90	0	0.00	4	0.74	12	2.22	9	1.66	8	22	4.07
	計	43	0.30	155	1.08	167	1.17	159	1.11	220	448	3.13

<sup>1</sup> 有所見率：有所見例数/受診者数×100

## c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位：人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		大 腸 癌 症 例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
男 性	施設検診	4,073	315	7.7	233	74.0	17	0.42	0.56
	集団検診	1,550	107	6.9	78	72.9	4	0.26	0.35
	計	5,623	422	7.5	311	73.7	21	0.37	0.51
女 性	施設検診	6,483	363	5.6	266	73.3	17	0.26	0.36
	集団検診	2,219	130	5.9	91	70.0	5	0.23	0.32
	計	8,702	493	5.7	357	72.4	22	0.25	0.35
計	施設検診	10,556	678	6.4	499	73.6	34	0.32	0.44
	集団検診	3,769	237	6.3	169	71.3	9	0.24	0.33
	計	14,325	915	6.4	668	73.0	43	0.30	0.41

<sup>1</sup> 要精検率：要精検者数/受診者数×100<sup>2</sup> 精検実施率：精検実施者数/要精検者数×100<sup>3</sup> 発見率：症例数/受診者数×100<sup>4</sup> 推定発見率：発見率/精検実施率×100

(キ) C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

平成18年度から、C型・B型肝炎ウイルス検査の対象者は40歳の方の節目検診、または輸血歴・手術歴のある者に変更された。

表10 C型・B型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)

a 受診者数、要精検者数および精検実施者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数		受診者数	要精検者数		精検実施者数	
		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>		% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>					
40~49	11	0	0.0	0	0.0	15	0	0.0	0	0.0	26	0	0.0	0	0.0
50~59	8	0	0.0	0	0.0	4	0	0.0	0	0.0	12	0	0.0	0	0.0
60~69	15	1	6.7	1	100.0	25	0	0.0	0	0.0	40	1	2.5	1	100.0
70~79	13	0	0.0	0	0.0	17	0	0.0	0	0.0	30	0	0.0	0	0.0
80~85	2	0	0.0	0	0.0	1	0	0.0	0	0.0	3	0	0.0	0	0.0
計	49	1	2.0	1	100.0	62	0	0.0	0	0.0	111	1	0.9	1	100.0

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見											有所見者数			
		がん		急性肝炎		慢性肝炎		脂肪肝		肝硬変		その他			正常	
		% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>	% <sup>1</sup>			
男 性	40~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	60~69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0	0.00
	70~79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	80~85	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0	0.00
女 性	40~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	60~69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	70~79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	80~81	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
計	40~49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	50~59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	60~69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0	0.00
	70~79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	80~85	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0.00
	計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0	0.00

<sup>1</sup> 有所見率: 有所見例数/受診者数×100

c 検診状況別に見た肝癌発見率

(単位:人)

性	検診状況	受診者数	要精検者数		精検実施者数		肝癌症例		
			% <sup>1</sup>	% <sup>2</sup>	% <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>			
							発見率 <sup>3</sup>	推定発見率 <sup>4</sup>	
男 性	施設検診	0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集団検診	49	1	2.0	1	100.00	0	0.00	0.00
	計	49	1	2.0	1	100.00	0	0.00	0.00
女 性	施設検診	0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集団検診	62	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	計	62	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
計	施設検診	0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0.00
	集団検診	111	1	0.9	1	100.00	0	0.00	0.00
	計	111	1	0.9	1	100.00	0	0.00	0.00

<sup>1</sup> 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

<sup>2</sup> 精検実施率: 精検実施者数/要精検者数×100

<sup>3</sup> 発見率: 症例数/受診者数×100

<sup>4</sup> 推定発見率: 発見率/精検実施率×100

受診者数は表 10 a のように、男性 49 人、女性 62 人、計 111 人である。C 型・B 型肝炎ウイルス抗体(一次スクリーニング検査)陽性率(要精検率)は、男性 2.0%、女性 0.0%、計 0.9%である。要精検者の精検受診率は男性 100.0%、女性 0.0%、計 100.0%である。精検結果は表 10 b のとおりで、有所見率は 0.0%である。

(ク) 悪性新生物症例

高齢者の医療の確保に関する法律等の検診により、当センターで発見した悪性新生物症例について次頁表 11 に示す。全体で 167 例であり、大腸癌 46 例、乳癌 42 例、胃癌 36 例、肺癌 22 例、子宮癌 11 例、その他 10 例である。

(ケ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市の独自の施策として平成 7 年 10 月より開始された(平成 16 年 4 月からの検診対象者は、男性では 40 歳以上、女性では 20 歳以上の 5 歳刻み)。

受診者の内訳は表 12 に示すとおりで、男性 650 人、女性 1,497 人、計 2,147 人であり、女性が多い。骨量の「減少あり」と判定された有所見率は、男性 34.5%、女性 37.7%、全体で 36.7%と高率である。

表 12 骨粗鬆症検診

(単位：人)

性	年 齢 (歳)	受診者数	測 定 結 果					計	% <sup>1</sup>
			減少なし	減少あり					
				軽 度	中 等 度	高 度			
男 性	40・45	48	39	0	6	3	9	18.8	
	50・55	37	23	0	10	4	14	37.8	
	60・65	170	122	0	35	13	48	28.2	
	70・75	345	221	0	80	44	124	35.9	
	80・85	50	21	0	15	14	29	58.0	
	計	650	426	0	146	78	224	34.5	
女 性	20・25	0	0	0	0	0	0	0.0	
	30・35	10	10	0	0	0	0	0.0	
	40・45	199	193	0	5	1	6	3.0	
	50・55	218	176	0	32	10	42	19.3	
	60・65	532	323	0	157	52	209	39.3	
	70・75	478	221	0	146	111	257	53.8	
	80・85・90	60	9	0	26	25	51	85.0	
	計	1,497	932	0	366	199	565	37.7	
計	20・25	0	0	0	0	0	0	0.0	
	30・35	10	10	0	0	0	0	0.0	
	40・45	247	232	0	11	4	15	6.1	
	50・55	255	199	0	42	14	56	22.0	
	60・65	702	445	0	192	65	257	36.6	
	70・75	823	442	0	226	155	381	46.3	
	80・85・90	110	30	0	41	39	80	72.7	
	計	2,147	1,358	0	512	277	789	36.7	

<sup>1</sup> 有所見率：「減少あり」例数/受診者数×100

表 11 当センターで発見した悪性新生物症例

No.	年齢	性別	病名	No.	年齢	性別	病名	No.	年齢	性別	病名
1	56	M	胃癌（早期）	57	32	F	肺癌	113	46	F	乳癌
2	62	M	胃癌（早期）	58	63	F	肺癌	114	46	F	乳癌
3	66	M	胃癌（早期）	59	64	F	肺癌	115	46	F	乳癌
4	68	M	胃癌（早期）	60	67	F	肺癌	116	48	F	乳癌
5	68	M	胃癌（早期）	61	72	F	肺癌	117	48	F	乳癌
6	71	M	胃癌（早期）	62	75	F	肺癌	118	50	F	乳癌
7	72	M	胃癌（早期）	63	78	F	肺平滑筋肉腫	119	55	F	乳癌
8	76	M	胃癌（早期）	64	56	M	大腸癌（早期）	120	60	F	乳癌
9	76	M	胃癌（早期）	65	57	M	大腸癌（早期）	121	60	F	乳癌
10	62	F	胃癌（早期）	66	59	M	大腸癌（早期）	122	60	F	乳癌
11	65	F	胃癌（早期）	67	61	M	大腸癌（早期）	123	60	F	乳癌
12	70	F	胃癌（早期）	68	61	M	大腸癌（早期）	124	61	F	乳癌
13	71	F	胃癌（早期）	69	63	M	大腸癌（早期）	125	61	F	乳癌
14	77	F	胃癌（早期）	70	64	M	大腸癌（早期）	126	61	F	乳癌
15	78	F	胃癌（早期）	71	70	M	大腸癌（早期）	127	63	F	乳癌
16	52	M	胃癌（進行）	72	70	M	大腸癌（早期）	128	63	F	乳癌
17	59	M	胃癌（進行）	73	72	M	大腸癌（早期）	129	64	F	乳癌
18	62	M	胃癌（進行）	74	74	M	大腸癌（早期）	130	65	F	乳癌
19	6	M	胃癌（進行）	75	41	F	大腸癌（早期）	131	65	F	乳癌
20	65	M	胃癌（進行）	76	50	F	大腸癌（早期）	132	65	F	乳癌
21	67	M	胃癌（進行）	77	51	F	大腸癌（早期）	133	67	F	乳癌
22	68	M	胃癌（進行）	78	60	F	大腸癌（早期）	134	67	F	乳癌
23	69	M	胃癌（進行）	79	61	F	大腸癌（早期）	135	68	F	乳癌
24	70	M	胃癌（進行）	80	61	F	大腸癌（早期）	136	68	F	乳癌
25	70	M	胃癌（進行）	81	69	F	大腸癌（早期）	137	68	F	乳癌
26	71	M	胃癌（進行）	82	77	F	大腸癌（早期）	138	70	F	乳癌
27	71	M	胃癌（進行）	83	61	M	大腸癌（進行）	139	70	F	乳癌
28	73	M	胃癌（進行）	84	61	M	大腸癌（進行）	140	70	F	乳癌
29	89	M	胃癌（進行）	85	66	M	大腸癌（進行）	141	70	F	乳癌
30	60	F	胃癌（進行）	86	65	M	大腸癌（進行）	142	70	F	乳癌
31	62	F	胃癌（進行）	87	75	M	大腸癌（進行）	143	71	F	乳癌
32	67	F	胃癌（進行）	88	41	F	大腸癌（進行）	144	72	F	乳癌
33	74	F	胃癌（進行）	89	61	F	大腸癌（進行）	145	72	F	乳癌
34	82	F	胃癌（進行）	90	61	F	大腸癌（進行）	146	74	F	乳癌
35	73	M	胃癌	91	62	F	大腸癌（進行）	147	75	F	乳癌
36	70	F	胃癌	92	67	F	大腸癌（進行）	148	76	F	乳癌
37	74	M	食道癌（早期）	93	68	F	大腸癌（進行）	149	77	F	乳癌
38	71	M	食道癌（進行）	94	76	M	大腸癌	150	79	F	乳癌
39	71	M	食道癌（進行）	95	60	F	大腸癌	151	90	F	乳癌
40	73	F	食道癌（進行）	96	62	F	大腸癌	152	35	F	子宮頸癌（上皮内癌）
41	79	F	食道癌（進行）	97	72	F	大腸癌	153	38	F	子宮頸癌（上皮内癌）
42	65	M	肺癌	98	61	M	直腸癌（進行）	154	40	F	子宮頸癌（上皮内癌）
43	65	M	肺癌	99	74	M	直腸癌（進行）	155	44	F	子宮頸癌（上皮内癌）
44	71	M	肺癌	100	68	M	S状腺腫内癌（早期）	156	45	F	子宮頸癌（上皮内癌）
45	72	M	肺癌	101	58	F	S状結腸癌（早期）	157	48	F	子宮頸癌（上皮内癌）
46	72	M	肺癌	102	62	F	S状結腸癌（進行）	158	56	F	子宮頸癌（上皮内癌）
47	73	M	肺癌	103	64	F	S状結腸癌（進行）	159	66	F	子宮頸癌（上皮内癌）
48	73	M	肺癌	104	68	F	S状結腸癌（進行）	160	47	F	子宮頸癌（微小浸潤癌）
49	75	M	肺癌	105	74	M	横行結腸癌（早期）	161	61	F	子宮頸癌（扁平上皮癌）
50	76	M	肺癌	106	69	F	下行結腸癌（進行）	162	74	F	子宮頸癌（扁平上皮癌）
51	76	M	肺癌	107	77	M	腺腫内癌（早期）	163	54	M	甲状腺癌
52	79	M	肺癌	108	63	M	粘性内癌（早期）	164	71	M	甲状腺癌
53	81	M	肺癌	109	48	F	カルチノイド	165	79	M	甲状腺癌
54	89	M	肺癌	110	41	F	乳癌	166	72	M	肝細胞癌（単純結節型）
55	56	F	肺癌	111	41	F	乳癌	167	44	F	低悪性度リンパ腫
56	60	F	肺癌	112	45	F	乳癌				

(1) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

受診者数は表13aのとおりで、男性5,224人、女性5,951人、計11,175人であり、年齢別には男性、女性とも70歳代にピークがみられる。区別の受診者数では、表13bに示すように、安佐北区が最も多く、ついで安佐南区、南区の順である。要精検率は表13cのとおり男性4.4%、女性3.3%、計3.8%である。

表13 結核健診

a 受診者数

(単位：人)

年齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		%		%		%
60～69	1,601	30.6	2,155	36.2	3,756	33.6
70～79	3,008	57.6	3,311	55.6	6,319	56.5
80～97	615	11.8	485	8.1	1,100	9.8
計	5,224	100.0	5,951	100.0	11,175	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		%		%		%
中 区	496	9.5	704	11.8	1,200	10.7
南 区	643	12.3	836	14.0	1,479	13.2
西 区	649	12.4	795	13.4	1,444	12.9
東 区	630	12.1	702	11.8	1,332	11.9
安 芸 区	506	9.7	503	8.5	1,009	9.0
安 佐 南 区	787	15.1	823	13.8	1,610	14.4
安 佐 北 区	839	16.1	829	13.9	1,668	14.9
佐 伯 区	674	12.9	759	12.8	1,433	12.8
計	5,224	100.0	5,951	100.0	11,175	100.0

c 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			%			%			%
60～69	1,601	52	3.2	2,155	57	2.6	3,756	109	2.9
70～79	3,008	138	4.6	3,311	116	3.5	6,319	254	4.0
80～97	615	42	6.8	485	24	4.9	1,100	66	6.0
計	5,224	232	4.4	5,951	197	3.3	11,175	429	3.8

## 2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

### (1) 調査研究の実施

下記の調査研究を行い、その成果は、「原子爆弾後障害研究会」をはじめ関係各学会等に 26 題を発表したほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙に発表した。

- ア 「被爆者がん検診の意義に関する研究」(継続)
- イ 「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」(継続)
- ウ 「被爆者の糖代謝に関する研究」(継続)
- エ 「肺がんに関する研究」(継続)
- オ 「加齢に関する研究」(継続)

### (2) 被爆者健康診断資料の収集整理と活用

被爆者健康診断の受診者に関する資料(カルテ、心電図所見等)を分類整理・収納した。健康管理・増進センターでは、必要に応じてこれらの資料を被爆者の健康管理・健康指導に活用している。

また、健康診断に関する資料を引き続き電算処理し、基礎資料としての管理体制を整えている。

### (3) 文献の収集

原爆関係図書「放射能と子ども達 ~ヒロシマ、チェルノブイリ、セミパラチンスク、そしてフクシマ~」ほか 4 篇を収集した。

### (4) 第 52 回原子爆弾後障害研究会の開催

第 52 回原子爆弾後障害研究会を、6 月 5 日(日)、八丁堀シャンテにおいて開催した。研究会では、特別講演 2 題、シンポジウムのほか、一般演題 29 題が発表された。本会関係者は、一般演題 3 題を発表した。

#### 一般演題

- ・「被爆者肺がん検診成績」 山下政代 ほか
- ・「原爆被爆者の循環器検診 心電図所見(心房細動)を中心に」 井上典子 ほか
- ・「被爆者における胃がん検診成績(第 12 報)」 川西昌弘 ほか

### (5) 検診結果の統計処理

本会の実施する被爆者健康診断によって得られた被爆者の健康状態に関する各種の情報はコンピュータにより統計処理を行うとともに、データは磁気ディスク等に記録し保存している。平成 23 年度に実施した主な事項は次のとおりである。

- ア 本会の実施した被爆者健康診断受診者の受診状況・疾病状況及び高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査等に関する平成 23 年度の年間統計
- イ 被爆者糖尿病追跡調査のための電算統計処理

### 3 被爆者の援護福祉事業

#### (1) 被爆者相談

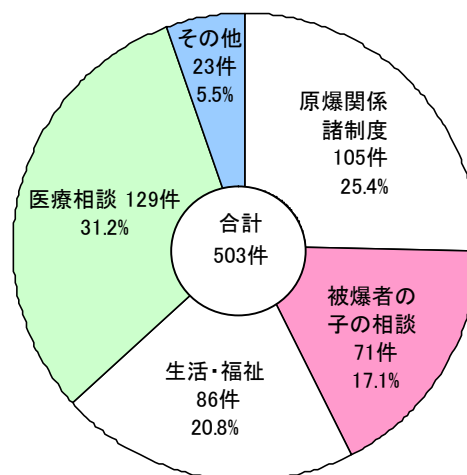
昭和36年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和42年7月専任相談員を配置し、昭和53年11月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

開設以来の相談件数及び平成23年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

年度	件数(件)	年度	件数(件)
昭和36	51	昭和62	3,454
37	29	63	5,333
38	19	平成元	4,530
39	30	2	4,074
40	46	3	4,183
41	68	4	3,525
42	240	5	3,451
43	334	6	3,482
44	465	7	3,512
45	626	8	3,576
46	910	9	3,393
47	626	10	3,758
48	507	11	2,911
49	568	12	3,414
50	871	13	2,817
51	1,241	14	2,572
52	1,746	15	2,522
53	2,566	16	2,455
54	3,174	17	2,084
55	2,319	18	576
56	3,676	19	625
57	3,057	20	566
58	2,852	21	601
59	2,660	22	503
60	3,283	23	414
61	3,086		

平成23年度の被爆者相談の状況



平成18年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

#### (2) 被爆者の援護措置

本会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被爆者援護金： 被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額10,000円を支給する。
- イ 温泉療養交通費補助金： 原爆被爆者有福温泉療養研究所で6泊7日以上療養した者に、交通費の一部として1回1,000円を支給する。
- ウ 被爆身障者等見舞金： 夏季と年末の年2回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- エ 福祉用具貸与・購入費補助： 住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。



オ その他の補助： 以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

平成 23 年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

平成 23 年度援護費の支給内容

種 別	人 員(人)	支 給 額(円)
温泉療養交通費補助金	284	284,000
被爆身体障害者等見舞金	16	150,000
福祉用具貸与・購入費補助	218	2,056,000
合 計	518	2,490,000

### (3) 原爆被爆者有福温泉療養研究所の運営

昭和 42 年 6 月、厚生省のあっせんにより日本自転車振興会の公益事業補助金の交付を受け、広島市、島根県、江津市などの援助を受けて、原爆被爆者有福温泉療養研究所(有福温泉荘)を開設した。

現在は、原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会(会長：江津市長)に運営を委託し、必要な助成を行って被爆者の福祉増進を図っている。

なお、泉質及び適応症は別表のとおりで、入湯療養の効果をおさめている。

### ア 沿革

- 昭和 42 年 6 月 日本自転車振興会等の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を開設
- 昭和 44 年 2 月 日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、暖房設備工事及び倉庫建設工事完成
- 昭和 45 年 5 月 2 階増改築工事完成
- 昭和 49 年 7 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
- 昭和 53 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
- 昭和 56 年 10 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋根防水改修その他工事完成
- 昭和 60 年 8 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、車庫上屋根新設工事等完成
- 昭和 62 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、食堂拡張工事等施設整備工事完成
- 平成 4 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、内部・外部改修工事等施設整備工事完成
- 平成 9 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、浴室改修その他工事完成
- 平成 10 年 8 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、屋上陸屋根防水工事その他の工事完成
- 平成 14 年 7 月 広島県・広島市の補助金の交付を受け、全館冷暖房設備工事完成
- 平成 19 年 7 月 車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、外壁・厨房等設備改修工事完成

イ 運 営 原爆被爆者有福温泉療養研究所運営協議会（江津市）

ウ 施設

・所在地 島根県江津市有福温泉町 762 番地 4 (〒695-0156 , 電話・FAX 0855-56-2148)

・敷地 3,348.73 m<sup>2</sup>

・建物 鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建 延1,488.52 m<sup>2</sup>  
 宿泊室(20室)、浴室(2)、食堂、娯楽室、事務室、従業員室

・事業費 298,518 千円

(財源内容)	日本自転車振興会補助金	34,580 千円
	車両競技公益資金記念財団補助金	84,780 千円
	広島県補助金	50,942 千円
	広島市補助金	60,669 千円
	島根県補助金	2,000 千円
	江津市補助金	4,287 千円
	原対協負担金	59,150 千円
	その他寄付金	2,110 千円

・定員 72 名

エ 申込手続き等

- ・広島原爆障害対策協議会または有福温泉荘で、利用する 4 か月前から受付
- ・利用料金 宿泊(1泊3食付) 被爆者 5,300 円 付添 6,500 円
- ・利用者には、バス運賃(広島電鉄)の割引証(2割引)を交付する。

オ 泉質及び適応症

泉質	単純温泉	カルシウム (mg/kg)	10.78	硫酸 (mg/kg)	18.59
泉温	46.5 度	ナトリウム ( " )	80.99	ヒドロ炭酸 ( " )	86.32
PH	8.8	カリウム ( " )	3.48	炭酸 ( " )	13.96
蒸発残留物	265.4	マグネシウム ( " )	1.77	メタ硅酸 ( " )	67.07
ラドン	0.14	クロール ( " )	66.04		

適応症	慢性関節リウマチ、筋肉リウマチ、神経痛、神経炎、骨・関節運動器障害、外傷性障害の治療、疲労回復
-----	---

カ 年度別利用状況

年度	男	女	計
昭和 43	1,025	1,477	2,502
44	1,299	1,665	2,964
45	1,195	1,867	3,062
46	1,176	1,884	3,060
47	1,304	2,069	3,373
48	1,361	2,036	3,397
49	1,206	2,100	3,306
50	1,332	2,258	3,590
51	1,214	2,280	3,494
52	1,400	2,536	3,936
53	1,284	2,372	3,656
54	1,376	2,436	3,812
55	1,473	2,623	4,096
56	1,483	2,839	4,322
57	1,513	2,890	4,403
58	1,403	2,679	4,082
59	1,351	2,867	4,218
60	1,316	2,919	4,235
61	1,294	2,997	4,291
62	1,166	2,761	3,927
63	1,263	2,828	4,091
平成元	1,244	2,997	4,241
2	1,253	2,992	4,245
3	1,170	3,074	4,244
4	1,080	2,808	3,888
5	1,173	3,179	4,352
6	1,232	3,211	4,443
7	1,230	3,281	4,511
8	1,216	3,318	4,534
9	990	2,989	3,979
10	1,231	3,239	4,470
11	1,262	3,264	4,526
12	1,263	3,230	4,493
13	1,101	2,585	3,686
14	1,157	2,640	3,797
15	1,253	2,516	3,769
16	1,339	2,488	3,827
17	1,328	2,390	3,718
18	1,130	2,061	3,191
19	1,025	2,033	3,058
20	1,019	1,891	2,910
21	1,041	1,722	2,763
22	1,018	1,678	2,696
23	1,024	1,587	2,611

キ 平成 23 年度の利用状況

性別

性別	実人員		延人員	
	人員(人)	比率(%)	人員(人)	比率(%)
男	1,024	39.2	2,764	32.5
女	1,587	60.8	5,736	67.5
計	2,611	100.0	8,500	100.0

年齢別

年齢(歳)	実人員		延人員	
	人員(人)	比率(%)	人員(人)	比率(%)
～59	186	7.1	269	3.2
60～69	523	20.0	1,132	13.3
70～	1,902	72.9	7,099	83.5
計	2,611	100.0	8,500	100.0

地域別

地域	実人員		延人員	
	人員(人)	比率(%)	人員(人)	比率(%)
広島市	1,647	63.1	5,570	65.5
広島県	717	27.5	2,381	28.0
その他(県外)	247	9.4	549	6.5
計	2,611	100.0	8,500	100.0

## 4 健康増進事業

### (1) 事業の内容

生活習慣病などを予防し、積極的に健康づくりを推進するため、平成元年9月から広島市の委託を受け、また、平成18年度からは広島市から指定管理者の指定を受け健康増進事業を行っている。本事業では、市民が日常生活において自主的に健康の保持・増進ができるように医学検査・体力測定・運動負荷テストおよび栄養調査によって健康度を測定し、一人ひとりに適した運動、栄養、休養の処方を行っている。

さらに、広島市各区のスポーツセンターと共同で継続的な運動の実施のための方策(登録制)も行っており、効果を挙げている。平成6年度からは、広島県体育協会との連携により国体強化選手のメディカルチェックも実施している。また、平成7年度からは、健康増進コースを受診後3~6か月後に、運動、栄養の実践の効果判定を行いたい人を対象に、新たに「効果測定メニュー」を加えるなど、一層の充実を図っている。さらに「効果測定メニュー」を利用した健康教室を年数回にわたり開催して受診者数の増加に努めている。

### (2) 検査項目

項目	内 容		基本 コース	精密 コース	簡易メニュー		効果測定 メニュー
					A	B	
問 診	生活状況・健康状況・食生活状況						
尿 検 査	糖・タンパク・ウロビリノーゲン・潜血						
血液一般検査	貧血などの検査	白血球・赤血球・ヘモグロビン・ ヘマトクリット					
血液生化学	肝機能・高脂血症・尿酸及び糖尿病などの検査	GOT・GPT					
		総コレステロール・血糖					
		HDLコレステロール・ $\gamma$ -GTP・ALP・CPK・総タンパク・尿酸					
		中性脂肪					
胸部X線	直接撮影						
肺機能検査	肺活量・努力性肺活量・1秒率						
眼底撮影	動脈硬化性・高血圧性変化						
血压測定	安静時						
身体計測	身長・体重・皮下脂肪厚・シルエッター撮影						
心電図検査	安静時						
体力測定	握力・脚伸展パワー・全身反応時間など						*
運動負荷テスト	トレッドミルまたはエルゴメーター						
指 導	栄養指導・運動指導・総合指導						

簡易メニューA：特定健康診査・人間ドック等の受診結果持参者向けメニュー

(希望受診日の概ね3か月以内に、特定健康診査や人間ドックで血液検査などの医学検査を受け、その結果に応じて一部検査を省略したメニュー)

簡易メニューB：広島市各区のスポーツセンターのトレーニング室利用(登録制)向けメニュー

\* 一部省略可能

## (3) 年度別実施状況

(単位：件)

年度	基本コース			精密コース			簡易コース			効果測定コース			合計
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
平成元	30	33	63	42	31	73							136
2	37	75	112	231	132	363	199	186	385				860
3	55	63	118	674	324	998	403	298	701				1,817
4	116	84	200	1,041	610	1,651	560	438	998				2,849
5	134	107	241	1,128	697	1,825	484	451	935				3,001
6	167	91	258	1,224	775	1,999	658	410	1,068				3,325
7	151	71	222	1,039	599	1,638	663	461	1,124	6	41	47	3,031
8	157	112	269	1,038	522	1,560	634	461	1,095	14	38	52	2,976
9	124	94	218	1,083	558	1,641	555	438	993	17	85	102	2,954
10	112	87	199	1,054	589	1,643	532	400	932	13	64	77	2,851
11	102	85	187	1,261	970	2,231	488	354	842	0	0	0	3,260
12	83	81	164	1,072	560	1,632	525	362	887	6	9	15	2,698
13	59	50	109	1,001	564	1,565	500	332	832	57	77	134	2,640
14	51	51	102	1,134	574	1,708	471	379	850	32	93	125	2,785
15	77	49	126	1,060	631	1,691	505	327	832	18	17	35	2,684
16	62	32	94	1,168	600	1,768	508	340	848	8	25	33	2,743
17	42	30	72	1,153	572	1,725	489	312	801	6	25	31	2,629
18	56	32	88	1,140	573	1,713	467	265	732	43	48	91	2,624
19	52	44	96	1,138	607	1,745	467	290	757	11	15	26	2,624
20	57	59	116	1,149	722	1,871	518	364	882	105	71	176	3,045
21	33	62	95	1,064	726	1,790	513	338	851	5	1	6	2,742
22	36	50	86	979	600	1,579	426	290	716	32	41	73	2,454
23	20	37	57	949	522	1,471	484	292	776	81	59	140	2,444

## (4) 平成 23 年度実施状況

平成 23 年度における健康増進事業のコース別・月別の利用者数は表 1 のとおりである。総受診者数は 2,444 名で、基本コース受診者は 57 名(男性 20 名、女性 37 名)、精密コース受診者は 1,471 名(男性 949 名、女性 522 名)、簡易メニュー受診者は 776 名(男性 484 名、女性 292 名)、効果測定メニュー受診者は 140 名(男性 81 名、女性 59 名)であった。

表 1 健康増進事業利用状況

(単位：人、日)

区分 (実施日数)	4月 (18)	5月 (16)	6月 (22)	7月 (20)	8月 (23)	9月 (20)	10月 (20)	11月 (20)	12月 (18)	1月 (18)	2月 (21)	3月 (21)	計 (237)	月平均 人数		
受診者数	112	91	168	228	232	255	294	289	289	219	166	101	2,444	203.7		
基本 コース	受診者数	1	1	4	7	5	11	5	9	3	3	4	57	4.8		
	性別	男性	0	0	2	5	1	4	2	1	1	2	0	20	1.7	
	性別	女性	1	1	2	2	4	7	3	7	2	2	4	37	3.1	
精密 コース	受診者数	33	60	103	154	165	187	209	182	165	103	86	24	1,471	122.6	
	性別	男性	22	50	79	105	117	121	117	106	101	59	55	17	949	79.1
	性別	女性	11	10	24	49	48	66	92	76	64	44	31	7	522	43.5
簡易 コース	受診者数	28	27	54	63	59	51	71	85	114	97	64	63	776	64.7	
	性別	男性	19	20	39	44	43	32	48	42	70	50	39	38	484	40.3
	性別	女性	9	7	15	19	16	19	23	43	44	47	25	25	292	24.3
効果測定 コース	受診者数	50	3	7	4	3	6	9	13	7	16	12	10	140	11.7	
	性別	男性	13	3	4	2	2	6	7	7	6	12	10	9	81	6.8
	性別	女性	37	0	3	2	1	0	2	6	1	4	2	1	59	4.9

受診者数の年次別推移は表 2 の如くで、男女ともここ 10 年間にはほぼ横ばいの状態が続いていたが、平成 22 年度以降は減少傾向がみられた。また、受診者数の推移を年齢別にみると、男女とも 10 代から 80 代までの幅広い年齢層に利用されており、最近では 60 代以上の受診者が増加してきているが、40～50 代の受診者が伸び悩んでいる。

平成 23 年度の受診者数の内訳を受診回数別にみると、図 1 の如くで、初回受診者は 337 名(男性 157 名、女性 180 名)であり、全体の 13.8%であった。2 回以上の受診者は 2,107 名(男性 1,377 名、女性 730 名)で全体の 86.2%、10 回以上の受診者は 820 名(男性 642 名、女性 178 名)と長期にわたる継続受診者が全体の 33.6%と多数みられた。前年度と比較すると初回受診者は 200 名程度の減少、2 回以上の受診者は 200 名程度の増加がみられ、10 回以上の長期継続受診者も増加傾向がみられた。

表 2 平成14年度から平成23年度の年度別・年齢階級別受診状況 (単位:人)

性別	年度 年齢階級	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
		男性	24	42	53	62	57	49	49	58	23
	20代	123	109	82	65	60	69	87	49	51	38
	30代	357	367	376	370	359	333	311	233	222	199
	40代	586	546	588	553	530	517	576	483	444	435
	50代	417	425	481	481	517	538	583	549	525	567
	60代	134	122	117	116	123	119	165	176	134	159
	70代~	47	49	49	43	60	43	58	67	74	65
	計	1,688	1,660	1,746	1,690	1,706	1,668	1,829	1,615	1,473	1,534
女性	10代	15	41	27	42	19	18	35	28	17	37
	20代	123	96	69	64	55	53	58	32	33	25
	30代	234	197	188	173	162	185	211	191	179	127
	40代	325	323	311	284	301	310	344	338	275	256
	50代	284	286	311	290	304	312	361	371	267	286
	60代	87	67	77	81	60	69	142	126	165	112
	70代~	29	14	14	5	17	9	65	41	45	67
	計	1,097	1,024	997	939	918	956	1,216	1,127	981	910

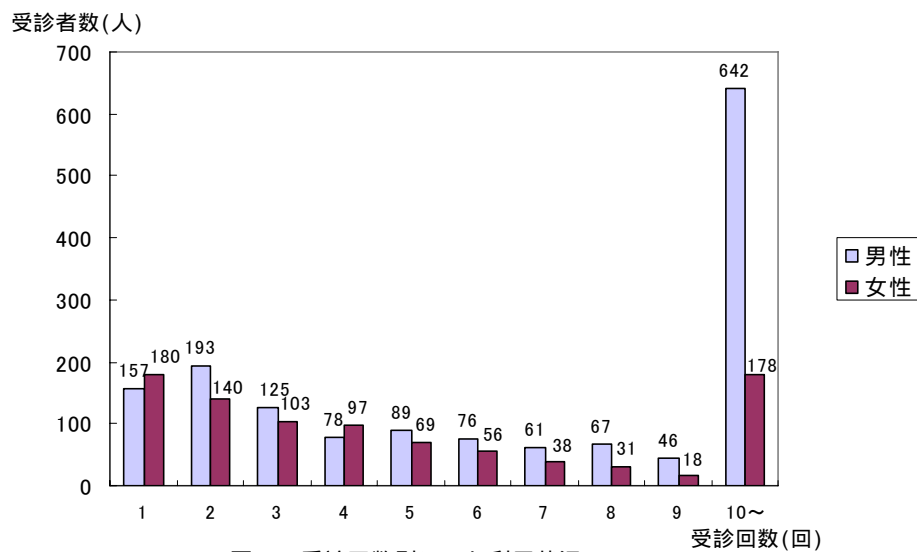


図 1 受診回数別にみた利用状況

今後、受診者の増加を図るためには、継続受診者を確保するための効果的な支援を充実させるとともに、新規の受診者の増加が必要である。そこで、平成 23 年度は継続受診者の確保には、手紙や電話を用いた受診奨励を行い、新規受診者の増加には、パンフレットやより興味をもってもらえるよう新しく作ったリーフレットを市の公共施設 150 か所に配布したり、広島市中小企業勤労者共済事業の 11 月・3 月号会報に健康増進コースの案内を掲載した。また、ホームページの案内を一新するなど広報活動を積極的に行った。今後も新たな情報誌の活用や他施設と連携しながら、生活習慣病予防や介護予防など市民のニーズにあった関心度の高いテーマを取り上げ、健康増進事業をより身近に感じることができるよう啓発活動をさらに積極的に行っていくとともに、その期待に応えられるよう、医学・運動・栄養指導のスキルアップを目指していきたい。

## 5 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子供から高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

### (1) 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子供から大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

ア 年間利用者数 49,939 人

#### 平成23年度健康科学館利用状況

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数	2,791	3,073	4,185	5,825	9,178	4,097	3,681	3,872	2,638	3,142	3,128	4,329	49,939
大人 (人)	1,626	1,654	2,460	2,955	4,289	2,147	1,823	2,040	1,373	1,862	1,719	2,178	26,126
小人 (人)	444	478	491	977	2,141	627	652	714	287	255	269	382	7,717
幼児 (人)	721	941	1,234	1,893	2,748	1,323	1,206	1,118	978	1,025	1,140	1,769	16,096
トータルヘルシアター (人)	179	293	642	611	1,030	497	234	632	238	310	299	530	5,495
上映回数 (回)	104	88	115	90	85	92	95	94	92	88	97	153	1,193
研修会議室 (人)	750	769	1,408	3,038	6,851	909	1,205	1,056	763	830	752	923	19,254
視察・見学 (回)	0	1	6	0	0	2	1	0	1	0	0	0	11
主催事業 (回)	6	9	7	20	24	7	9	10	8	11	11	8	130
共催事業 (回)	7	5	3	1	1	5	5	3	3	5	4	5	47
ビデオ上映 (回)	2	1	12	3	0	10	11	12	2	0	2	6	61
健康ライブラリー (人)	73	62	85	123	222	93	81	82	67	93	89	161	1,231
つどいの広場 (人)	1,207	1,217	1,765	2,282	2,097	1,887	1,548	1,573	1,283	1,516	1,572	1,905	19,852
大人 (人)	609	606	872	1,083	986	943	757	741	607	748	739	904	9,595
幼児 (人)	598	611	893	1,199	1,111	944	791	832	676	768	833	1,001	10,257

イ 企画展の開催 年 4 回

#### 企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数	観覧者数(人)			
			大人	小人	幼児	合計
㊦と㊧の物語	平成23年2月26日～7月10日	※1 83	4,223	1,600	955	6,778
めざせ！遊びの達人	7月16日～10月23日	83	6,414	4,111	2,899	13,424
のぞいてみよう！からだをまもる秘密	10月29日～平成24年2月19日	87	4,055	1,499	1,141	6,695
ふしぎセンサー 目・耳・鼻のなぞ？	平成24年2月25日～7月8日	※2 30	1,326	428	787	2,541
合 計		283	16,018	7,638	5,782	29,438

つどいの広場のみ及びライブラリーのみ入館者は除く。

※1 日数及び観覧者数は、平成23年4月1日から7月10日までの集計

※2 日数及び観覧者数は、平成24年2月25日から3月31日までの集計

ウ パネル展 年 12 回

### (2) 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

### (3) 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント (年 48 回) 参加者 1,770 人
- ・パパとママの育児教室 (年 34 回) 参加者 1,942 人

・他の関係機関との共催による研修会 (年 45 回) 参加者 2,285 人

(4) ボランティア(ヘルスサポーター)の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成事業(6 課程) (年 1 回)
- ・ボランティアの育成講座 (年 7 回)
- ・ボランティアの活動事業 (年 586 回)

(5) 広報活動(TV・ラジオ取材等) 開催数 109 回

(6) 展示物・資料等貸出 12 回

(7) ファミリー・サポート・センター事業

保護者の急な用事や残業の際の預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター(地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織)を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

ア 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 2,801 人(提供会員:527 人 依頼会員:2,136 人 両方会員:138 人)

【平成 24 年 3 月 31 日現在】

イ 援助活動の調整

マッチング件数 949 件

ウ 提供会員登録講習会(援助活動に必要な知識の普及) (年 2 回 6 月、11 月)

エ 会員同士の交流 6 回

オ 会員講習会 5 回

カ 機関誌の発行 1 回

(8) つどいの広場事業

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

ア 常設のつどいの場の提供

イ 子育てに関する相談援助

ウ 子育て関連情報の提供

エ 子育て等に関する講習会の開催 年 33 回

オ 利用者数 19,852 人(大人 9,595 人 幼児 10,257 人)



## 6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

### (1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと平成3年4月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、医師等の受入（平成23年度は、5回にわたり15名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

### (2) 来日原爆被曝者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被曝者への援助を引き続き行った。

## 7 平成23年研究業績

### (1) 学会発表(「第52回原子爆弾後障害研究会」除く)

第54回日本糖尿病学会年次学術集会(5月19~21日、札幌市)

- ・吉良さくらこ、平岡佐知子、入江三枝子、福島徳子、前田亮、佐々木英夫、伊藤千賀子：脳心血管死亡予知マーカーとしての尿中マイクロアルブミンおよび尿中 型コラーゲンの意義
- ・福島徳子：飲酒量別にみた栄養摂取状況及び諸種臨床検査成績の比較

第75回日本循環器学会学術集会(8月3日、横浜市)

- ・井上典子：Improvement of Glucose Tolerance is Important to Prevent Cardiovascular Mortality.

第39回磁気共鳴医学会総会(9月30日~10月2日、小倉市)

- ・田村隆行、笛吹修治、村上 茂、有広光司、山田圭紀、藤本 崇、内藤久美子、秋山實利：乳癌における Multi-b value DWI 信号解析と病理画像の比較

第82回日本消化器内視鏡学会総会(10月21日、福岡市)

- ・川西昌弘、富吉秀樹：食道胃内視鏡を用いた健康診断における NERD(Non-erosive reflux disease) や逆流性食道炎、裂孔ヘルニアの頻度 *Helicobacter pylori* 感染との関係

第39回日本放射線技術学会 秋季学術大会(10月28日、神戸市)

- ・榎本佳史：胸部3次元CT画像のコンピュータによる悪性中皮腫の自動検出の開発

日本糖尿病学会中国四国地方会 第49回総会(11月11~12日、徳島市)

- ・吉良さくらこ、山下政代、入江三枝子、福島徳子、佐々木英夫、伊藤千賀子：軽症DM者のCKD分類とその予後についての検討

第42回日本消化器がん検診学会第42回中国四国地方胃集検の会(12月10~11日、宇部市)

- ・品川祐樹：対策型胃がんX線検診における逐年検診群の胃がん見逃し原因についての検討

### (2) 講演会等

広島県西部地区胃透視勉強会(1月27日、広島市)

- ・田村隆行：胃透視のコツ 胃X線写真をよりきれいに撮像するテクニック

広島県西部地区胃透視勉強会(5月20日、広島市)

- ・品川祐樹：前壁撮影時に出会った症例紹介

広島MR撮像研究会(5月20日、東広島市)

- ・田村隆行：基礎講座10 K-空間

広島MR撮像研究会(7月14日、広島市)

- ・藤本 崇：基礎講座15 グラジエントエコー法 Part2 高速撮像法

芸南放射線技術勉強会胃透視勉強会(8月19日、呉市)

- ・品川祐樹：隆起性病変と陥凹性病変の読影

広島県西部地区胃透視勉強会(9月30日、広島市)

- ・品川祐樹：胃検診における、隆起性病変の基本

広島県西部地区胃透視勉強会(11月11日、広島市)

- ・田村隆行：陥凹性病変の基礎
- ・品川祐樹：陥凹性病変の透視像 潰瘍や癌を中心に

広島県消化管撮影研究会 胃がんセミナー(11月23日、福山市)

- ・田村隆行：胃癌の基礎
- ・品川祐樹：胃X線の症例検討

### (3) 論文

- ・佐々木英夫：ドーピングってなに？．フジタドルフィンクラブ会報 153：6, 2011.
- ・佐々木英夫：ドーピング違反にならないために．フジタドルフィンクラブ会報 154：6, 2011.
- ・佐々木英夫ら：陸上競技者のためのドーピングコントロール便利帳．日本陸上競技連盟．2011.
- ・佐々木英夫、福島徳子、川堀耕史、中野 繁、三宅勝次、東川安雄、稲水 惇：国体前のメディカルチェックの意義．広島陸上競技研究 13：9-12, 2011.
- ・Marilia M. Ogawa, Hideo Sasaki：Hiroshima, an experience that can never be forgotten：long-term follow-up of Hiroshima survivors. International J Dermatol 50：890-892, 2011.
- ・佐々木英夫、大成浄志、村上恒二、稲水 惇、吉崎英一郎、石井良昌、重野陽一、濱田泰伸、出家正隆：広島県における国体前のメディカルチェック．広島スポーツ医学研究会誌 12：20 - 24, 2011.
- ・佐々木英夫：ロコモティブシンドロームってなに？．カレントひろしま 9月号 311：48-49, 2011.
- ・川西昌弘：脂肪肝と肝臓癌．カレントひろしま 11月号, 2011.
- ・川西昌弘、三輪洋人、眞部紀明：ディベート 「NERD」．THE GI FOREFRONT 7：51-58, 2011.

## (1) 学会発表

第 52 回原子爆弾後障害研究会 (6 月 5 日、広島市)

- ・山下政代、加藤博也、井上典子、内藤久美子、川西昌弘、吉良さくらこ、佐々木英夫、石田 啓、前田 亮：被爆者肺がん検診成績
- ・井上典子、山下政代、石田 啓、川西昌弘、加藤博也、内藤久美子、吉良さくらこ、前田 亮、佐々木英夫：原爆被爆者の循環器検診 心電図所見 (心房細動) を中心に
- ・川西昌弘、佐々木敦紀、山下政代、石田 啓、井上典子、加藤博也、内藤久美子、吉良さくらこ、前田 亮、佐々木英夫：被爆者における胃がん検診成績 (第 12 報)」

International Conference on Alzheimer disease (7 月 16 ~ 18 日、パリ)

- ・Yamada M, Kasagi F, Mimori Y, Miyachi T, Ohshita T and Sasaki H : Midlife and elderly biologic function and dementia : Radiation Effects Research Foundation Adult Health Study.

第 14 回運動疫学研究会シンポジウム (9 月 15 日、下関市)

- ・佐々木英夫：成人健康調査における運動疫学研究

The 9th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology and Geriatrics (10 月 23 ~ 27 日、メルボルン)

- ・Yamada M, Kasagi F and Sasaki H: Reaction time predicts mortality in a middle-aged and elderly Japanese population : Adult Health Study of the Radiation Effects Research Foundation.

## (2) 講演会等

広島県体育協会中・高合同指導者研修会 (2 月 4 日、広島市)

- ・佐々木英夫：国体メディカルチェック - 判定の見方と活用について

広島大学大学院医歯薬学総合研究科・保健学研究科「予防医学・健康指導特論」(5 月 11 日、広島市)

- ・佐々木英夫：健診制度・個人情報保護、健診・保健指導の理念

中国電力研修会 (5 月 21 日、広島市)

- ・佐々木英夫：ドーピングコントロールの現状と注意点

日本陸上競技連盟全国医務部長会議 (6 月、東京)

- ・佐々木英夫：アンチドーピング活動

広島大学「医学からみた戦争と平和」コース (5 月 9 日、東広島市)

- ・佐々木英夫：原爆被爆者の健康管理と課題

広島サマースクール講演 (8 月 17 日、広島市)

- ・佐々木英夫：原爆被爆者の健康管理と疾病予防

広島県体育協会研修会 (8 月 10 日、広島市)

- ・佐々木英夫：ドーピングコントロールの現状

千田学区老人クラブ連合会講演会 (10 月 26 日、広島市)

- ・佐々木英夫：いつまでも若々しく過ごすために

2011HICARE シンポジウム 放射線の人体影響 (11 月 24 日、広島市)

- ・佐々木英夫：被爆者健康管理の意義、課題と今後の方策

## Ⅶ 資 料

### 1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）

（各年度末、単位：人）

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
昭和 32	74,610	32,342	106,952
33	79,400	36,531	115,931
34	82,476	38,611	121,087
35	82,831	43,713	126,544
36	87,752	48,716	136,468
37	92,796	51,153	143,949
38	93,608	51,014	144,622
39	93,393	53,113	146,506
40	92,911	57,204	150,115
41	95,627	64,768	160,395
42	94,975	71,574	166,549
43	92,921	75,987	168,908
44	91,389	77,442	168,831
45	90,336	81,233	171,569
46	92,090	80,881	172,971
47	108,764	66,812	175,576
48	108,690	66,624	175,314
49	114,411	62,874	177,285
50	114,542	65,219	179,761
51	113,384	66,253	179,637
52	112,738	66,699	179,437
53	111,811	67,228	179,039
54	110,717	67,799	178,516
55	109,612	68,356	177,968
56	108,870	68,211	177,081
57	108,208	68,208	176,416
58	107,093	67,550	174,643
59	113,885	59,322	173,207
60	112,871	58,856	171,727
61	111,433	58,121	169,554
62	110,392	57,580	167,972
63	109,118	57,046	166,164
平成元	107,459	56,250	163,709
2	105,599	55,579	161,178
3	103,818	54,889	158,707
4	101,939	53,958	155,897
5	100,188	52,851	153,039
6	98,473	51,844	150,317
7	96,929	50,766	147,695
8	95,260	49,630	144,890
9	93,637	48,577	142,214
10	91,940	47,173	139,113
11	90,184	45,451	135,635
12	88,592	44,367	132,959
13	86,779	43,246	130,025
14	85,065	41,995	127,060
15	83,732	40,739	124,471
16	81,649	39,427	121,076
17	80,509	37,381	117,890
18	78,111	35,987	114,098
19	75,642	34,561	110,203
20	73,388	33,027	106,415
21	71,194	31,619	102,813
22	68,886	30,498	99,384
23	66,660	28,926	95,586

（広島市「原爆被爆者対策事業概要」より）

## 2 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置(更新)	12,915,000	4,916,000
22	全自動電気泳動装置(更新)	10,263,235	4,028,235
	合 計	1,521,002,235	713,339,235

### 3 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

### 4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

## 5 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
	合 計	411,917,521	101,303,000



## 6 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年度	事業名	事業費総額	補助金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
合 計		458,799,521	119,673,520

## 7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	-	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	-	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000
14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
22	813,080	0	813,080
23	765,000	0	765,000
合計	50,305,000	19,465,491	69,770,491

## 8 全国から寄せられた寄付金

(資料6再掲, 敬称略)

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
昭和 29	239,486 円	39 件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK 一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術入展, 岸英一, 毛利典攢, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団 支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ピカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804 円	38 件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 妻 豊子外 24 名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34 名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪T生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生プラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市I子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍相起協議会長遠藤南史, 美 ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819 円	98 件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊 隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長 重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原 男, 医師会卒業生無名氏, 横浜市新生活運動婦人会一同, 福家俊明, 野溝 人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, , 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・ 国定典明, 神阪子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨木県取手 学校生徒会長大久保証夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, 孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年D組ひらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎彦彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684 円	21 件	大森シゲ, 山田 , 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞 委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博 外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316 円	50 件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊 学校生徒, 高校三年図書部・ 君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・ トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田 小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共 ・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, 無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会, 東町連合子供クラブ一同,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
34	575,892 円	32 件	川崎市東芝 附工, 段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三, 野口あき, 東京電気大学 学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋土・東京忍岡高校生・川, 屋代小・中学校・戸倉中学校, 匿名, 広島県 ・吉本勝・浜田カヨ子, 山田千恵子, 高橋昭博, 杉淵徳治, 山田千恵子, 河野次郎・県教職組合・乃美小学校 6 年 組, 尾富美子, 浜田加代子, 土肥邦雄, 三村典子, 松下和義丸本杏男, 山田千恵子, 日本むつみ会, 山田千恵子, 奈良県一 人, 山田千恵子, 吉岡隆夫, 神戸市親和高校グループ, 日本むつみ会老生, 山田千恵子, 金沢兼之助, 東京福祉協会理事小祝昌弘, 四人の女月光仮面, 一読者, 愛知トマト KK 他 7 社, 日本むつみ会老生, (匿名), 大阪一女性, 匿名者, 田口正治, グレチエン・タットヒル, 古賀和紀, グレチエン・タットヒル, 金光教群馬県西部連合会, 藤村弘, 全日労組合広島地方会議組合員, 篠村つる子, 香川県千羽鶴運動実行委員会, イタリア生, (匿名), 浦辺和美外三名, 徳竹道生外一名
35	78,957 円	17 件	広島予研支所匿名, 広島予研支所匿名, アーサー・マリー・アイペンダー, 赤松鉄也, 赤松鉄也, 匿名, 篠村つる子, 金子健次郎, 大阪 K.E.氏, 匿名, 匿名, 山田千恵子, 山田千恵子, 森新一, 山田千恵子, 原水爆禁止大川市協議会長古賀清治, 広島県競輪選手会
36	1,935,402 円	30 件	紺野光吉, 紺野光吉, 日本原水爆被災者救援協会代表富井令子, 石田久子, 山田キク, 関つる, 山蔭貫之, 関つる, 紺野光吉, 日本電装労働組合, ルイス・カヴレル, 匿名, 匿名 2 名, 全大丸労働組合神戸支部, 全国財務労働組合, 紺野光吉, 原田東岷, 安佐郡長束地区婦人会長原田静枝, 寺本典夫, 佐藤富子, 土井憲策, 山崎君子, 愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同, 石川県立工業高等学校デザイン科有志, 紺野光吉, 原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング, 紺野光吉, 柿原幸二, 小崎芳子, 紺野光吉
37	140,129 円	19 件	紺野光吉・無名氏, 三次中学校, 三次町本通一子供会, 紺野光吉・匿名, 山田千恵子, 小川亀三, 日 一社員外三氏匿名, 紺野光吉・m.y., 清水芳郎, 駒込学園一同, 呉造船労組宮原地区家族会, 日本司法書士会連合会総会出席者, 東大教育学部高校一年 A 組, 板木節夫, 藤田正行, 河原卓一, 安永茂雄, 日下部春一, 岩滝宗雄
38	210,638 円	23 件	神戸市育英高等学校一年十組, 中村勝弥, 奥田光太郎, 空調タイムス社代表取締役杉本英太郎, 大歳盛明, 志村寛一, ノートルダム清心高等学校三年生一同, 山田千恵子, 山田千恵子, 徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫, 般若太郎外七口, 岡本稔雄・吉田町役場職員組合, 村上春雄, ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団, 日本高等学校教職員組合, 中川シゲノ, 山口親愛教会 S 氏, (匿名), 本間妙海, 匿名, 村上和輝, 日赤東京都支部寄託, 読売新聞社寄託
39	196,179 円	18 件	読売新聞社寄託 2 名, 日赤東京都支部寄託, 匿名, 山田千恵子, 中国新聞社会事業団寄託, 政治経済研究会代表番匠朝昭, 日本高等学校教職員組合代表磯本達則, 中国新聞社会事業団寄託, 土手和海外二名, 原水爆禁止門 市協議会会長東重太郎, 金沢なでしこ会三人, 金光教広島県連合会外二件, 岐阜県立中津高等学校職員二学年一同, 黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同, 福島県石川実務学園長外三ヶ所, 朝日新聞山口支局寄託, 石川県立金沢高等学校二四ホーム一同, 大 七
40	485,027 円	23 件	神戸新聞厚生事業団寄託, 石川県金沢高等学校修学旅行団, パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻, 中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同, 生製作所労組, 渋谷区代々木善明会教団, 全国自動車産業労働組合連合会東海支部, 山形県 16 歳学生, 中島マチ, 豊島区 S.K, こばやし, 塚本利光, 大豊 樹, 尾川昭外七ヶ所, 比和中学校福田部落会生徒, キリンビール労働組合広島工場支部長 永, 松岡洋子・岡本・玉置せき, 東京電気大学高校普通科二年生一同, 日本大学豊山学園友輪会, 豊橋市時 高校二年一組一同, 豊川地方労働組合, 田照夫, 石本タケノ
41	415,603 円	18 件	喫茶ガーネット、小池静子外二名, 県内に住む一女性, 三宅千代子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則, 善明会教団東京支部, セント・ジエルジ博士, 右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名, 東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒 キリスト, 大阪市旅行クラブ「浪花会」, 国際協力及軍備に関するオーストラリアニュージーランド委員会, 吉田達雄, 安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同, 土井憲作, 南千田ヘルスセンター, 山本雅子, 矢沢一民, 旧普通科神 高等学校一年三組,
42	503,278 円	21 件	川上ナルエ, 堤健一郎, 徳原スミ子, 飯田商店外二者, 杉山博康, 小松修, 神戸外大二部原水禁実行委員会一同, 片山茂樹, 法眼 外五件, 三次市栗原町婦人会外二件, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円, 読売新聞社寄託, 金洞海, 山形 KO 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同, 奈良県青龍寺小西妙淳, 全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合, フランス人シャンボイゼ,

年度	合計金額	件数	寄付者氏名
43	451,958 円	20 件	新田修三, 関川守彦, 下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校 日本高等学校教職員組合, 長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武, 日本火薬福山工場ダンス同好会一同, 本田英郎, 日本高等学校教職員組合, 大口あさを, 金井政吉, 姫路市匿名, 舟入本町商店街, 広島市の者, 藤井音次郎, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓, 沖一成, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合, 東海大学原子力教室, ピクターオート(株)広島営業所, 酒井幸四郎, 藤井音次郎, 藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 藤井音次郎, 水木ナツ, 藤井音次郎, 小島静江, 金井政吉, 入田律子, 舟入本通会, 一老人, 田中茂, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 桂雄一, 徳山市蟻の会代表水木敏郎, 鈴川寅二, ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩, 鯉城クラブ, 藤井音次郎, 大園英彦, 藤井音次郎, 小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎, 友広和夫, 一匿名者, 一匿名者, 金井政吉, 匿名の一少女, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 藤井音次郎, 神戸市職青年部神戸市葦合区役所・神戸市生田区役所有志, 堀内登久子, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 匿名者, 湧井雅晴, 小西清, 高田和典, 法政大学女子高校1年F組, 岩室久一, 横光利之, 苫小牧西高等学校新聞局, 明大附属中野中学校2年生, 藤井音次郎, 一市民, 狩野重治, 藤井音次郎, 岡野チヨノ, 八木千代, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎, 藤井音次郎, 金井政吉, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 柴崎英治, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 三重県立紀南高等学校修学旅行団一同, 藤井音次郎, 今田稔穂, 広島木工製材機械協会, 森崎律子, 藤井音次郎, 広島市匿名氏, 安佐ボール社長武智義則, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子, 藤井音次郎, 松川宣正, 松川宣正, 広島市 Y 子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店長小野敏次, 広島市無名氏, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 新谷五郎, 松坂次男, 藤井音次郎, 原田東岷, 飯田昭二, 藤井音次郎, エア・ポートレーン支配人登勝志, 広島市民無名氏, 福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴, 岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良, 藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一, 藤井音次郎, 大高美代, 岡儀造, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次, 原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平, 藤井音次郎他, 藤井音次郎, 岡正造, 藤井音次郎, 甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹, 藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ, 足門ミドリ, 日本高等学校教職員組合, 広島市内原爆被爆者, 原水爆禁止十日町市協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎, 奥野ワカヨ, 広島市原爆被爆者, 市山律子, 上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治, 乙井ミツエ, 愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典, 広島市民被爆無名者, 広島第一劇場代表取締役吉田尚行, 広島木工製材機械協会会長金子堅一, 西部浩子, 日本高等学校教職員組合, 関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫, 初倉利明, 西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄, 河野和夫, 日本高等学校教職員組合, 長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子, 松上年雄, 広島木工製材機械協会, 東京の一学生, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫, 清水由紀子, 高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作, 浜井澄人, 山口能弘, 荒木邦男, 山田春三, 府中農協病院植田繁男, 川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 東洋工業 K.K. 監査部主管初倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 森崎利樹, 藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子, 山口大学平和キャラバン隊, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信, 山口大学ユネスコクラブ第12回平和キャラバン隊, 花田実男, 栃木県烏山女子高等学校三年一組一同, 大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代, 京極春子, 山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会, 大高美代, 大熊開市, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫, 中野ツルエ, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市

年 度	合 計 金 額	件 数	寄 付 者 氏 名
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
22	813,080 円	1 件	日本高等学校教職員組合
23	765,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合

## 9 核兵器禁止平和建設国民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	毛糸編機 6 台、ラジオ 1 台	292,000
46	カラーテレビ 1 台、長イス 11 脚	237,000
47	フィルム保管庫 5 台	125,000
49	フィルム格納庫 9 台	251,000
50	スロンブエラストグラフ 1 台、毛糸編機 4 台	1,750,000
52	顕微鏡 1 台、毛糸編機 3 台	442,000
53	胃カメラ 1 台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ 1 台	1,300,000
55	眼底カメラ 1 式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ 1 台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ 1 台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ 1 台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ 1 台	1,115,000
60	オートプロジェクター 1 台、内視鏡格納棚 1 台、吸引器 1 台	915,000
61	ガストロファイバースコープ 1 台	1,300,000
62	顕微鏡 2 台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡 1 台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計一式、吸引器、検眼鏡 1 組、パルスオキシメーター 1 台	958,106
6	体内脂肪計一式、インターバル・パワートレーニング・マシン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ 1 台、ゼリーウォーマー 1 台	893,550
22	電子スパイロメータ	999,600
	合 計	31,763,431

ただし、平成 6 年度以降は、核兵器禁止平和建設国民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

## 10 日本労働組合総連合会広島県連合会

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
	合 計	7,518,231

# 11 職員

(平成24年7月1日現在)

課・科・室名	職名	氏名
事務局	事務局長	松下 義孝
	総務課	課長 三好 保
	経理課	課長 影居 嗣久
	健康管理課	課長 大島 博美
	資料調査室	(兼)室長 三好 保
健康管理センター	所長	佐々木英夫
	副所長	藤原佐枝子
	部長	吉良さくらこ
	副部長	足免 弘章
	受付課	課長 森脇 景子
	一般健診科	(事)科長 吉良さくらこ
	精密健診科	科長 川西 昌弘
	がん検診科	科長 加藤 博也
	放射線科	科長 内藤久美子
		技師長 松島 文昭
	検査科	(事)技師長 足免 弘章
	看護科	看護師長 斎藤 恵子
健康増進センター	(兼)所長	佐々木英夫
	(兼)副所長	藤原佐枝子
	健康増進科	科長 井上 典子
健康科学館	館長	岡本 和之
	管理課	(事)課長 岡本 和之
	教育課	課長 植田 智子



事業概要 平成 24 年版 (2012 年)

---

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会  
(略称: 広島原対協)

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 8 番 6 号  
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451(代表)

FAX 082-241-0414

URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>

---